需給調整市場週間市場商品基準値計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準規格(旧)	需給調整市場基準値計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準規格(<mark>新</mark>)	備考
需給調整市場週間市場商品		
基準値計画等および基準値内訳実績受領業務 ビジネスプロトコル標準規格	基準値計画等および基準値内訳実績受領業務 ビジネスプロトコル標準規格	
(Ver. 3A)	(Ver. 3A)	
2024年2月 電力広域的運営推進機関	202 <mark>5年8月</mark> 電力広域的運営推進機関	年月更新

需給調整市場週間市場商品基準値計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準規格(旧)	需給調整市場基準値計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準規格(新)	備考
はじめに	はじめに	
現在、産業別においては、産業の情報化の進転に伸い、業務の出途化、高端度化、低コス化化を実践するために が、おかられた保障を他用して、関係する金素はよび実別間でデータの電子的が相互交換を行うEDI(Exctosic Data Interchange)が行なわれており、各業界内だけでがく業族大で礼その能量活動が活発化してきている。 そこで、今後、電力が場が産権連権関係に下る構造しつ。以上、業務規模に基づる、広び貿易等を実施し、系 応利用者の意見地域を行うとれて、全ての一般電気事業者の近距電部門、並びに複数の特定規度運気事業者及 U%電気循液覆者と協識の上、本機関と一般送配電等業者、小売電気事業者、アグリケーションコーディネーク等の間でEDIを行う がいる要見なる事実の内、非結論整可以取り開発等に基づき国門も多形がに行いて時で制で制き基準電計画、西部計画が基準を対する 実施、および発電計画度が計画(以下、「返別値計画等」という。)を場合する際のビジネスプロトコルの標準として、「常路調整市場場間中場部が 基準値計画等さまび基準値内が実実施を領業第セジネスプロトコル標準規格(以下、「本規格)という。)を場定する。	・ う際に必要となる事項の内、需給調整市場取引規程等に基づき <mark>需給調整</mark> 市場の取引において行う「基準値計画、直前計測型基準値内訳実績、	週場のをし点の間関文見機画加。

稻調 登1	市场週间市场商品基準個	直計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標	準規格(旧)	需給調整市場基準値計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準規格(新)					
夏歴]	T			[改定履歴]					
PID版	制(改)定年月日	制(改)定概要	備考	BPID版	制(改)定年月日	制(改)定概要	備考		
3A	2021年 4月 28日	新規制定		3A	2021年 4月 28日	新規制定			
		BPID 機関コード:"OCTO"				BPID 機関コード:" OCTO"			
		BPID 副機関コード:"W9"		_		BPID 副機関コード:" W9"			
3A	2023年 4月 24日	・週間市場商品区分追加(一次・二次①・二次②)		3A	2023年 4月 24日	・週間市場商品区分追加(一次・二次①・二次②)			
		・三次調整力①分の需要家リスト・パターンを週間市場商品の各リスト・				・三次調整力①分の需要家リスト・パターンを週間市場商品の各			
		パターンに修正				リスト・パターンに修正			
				3A	2025年 8月 **日	・一次調整カ〜三次調整カ①のブロック時間30分化			
						・基準値ファイルの時間単位の変更(3時間単位→24時間単位)			
						・「週間市場商品事前予測型基準値計画」を「基準値計画」に統合			
						・機器点計画を追加			

需給調整市場週間市場商品基準値計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準規格(旧)	需給調整市場基準値計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準規格(<mark>新</mark>)	備考
目次	目次	
1. 業務概要5		
1. 1 業務目的5	1. 1 業務目的5	
1. 2 対象業務5	1. 2 対象業務5	
1. 3 業務イメージ		
2. 業務プロセス		
2. 1 業務フロー		
2. 2 メッセージ一覧	2. 2 メッセージ一覧	
3. 標準メッセージ 8 3. 1 構文規則 8	3. 標準メッセージ 8 3. 1 構文規則 8	
3. 2 XMLのデータ構造		
3.3 構成要素と XML タグ名称付与規則	3. 2 XML のデータ構造	
3. 4 メッセージグループヘッダ	3.3 構成要素と XML タグ名称付与規則9	
3.5 マルチ明細の構造	3. 4 メッセージグループヘッダ11	
3.6 マルチ明細タグ名	3.5 マルチ明細の構造	
3. 7 空の繰返し要素の省略13	3.6 マルチ明細タグ名	
3.8 メッセージを構成するデータ要素における空等の扱い13	3.7 空の繰返し要素の省略	
3.9 データ属性の表記法15	3.8 メッセージを構成するデータ要素における空等の扱い13 3.9 データ属性の表記法	
3. 10 事前予測型基準値計画関係メッセージのデータ要素16	3. 9 テータ属性の表記伝 10 3. 10 基準値計画関係メッセージのデータ要素 16	,
3. 11 直前計測型基準値内訳実績メッセージのデータ要素18	3. 10 	
3. 12 発電計画電力計画メッセージのデータ要素 19	3. 12 発電計画電力計画メッセージのデータ要素	
3. 13 XML データの検証	3. 13 機器点計画メッセージのデータ要素 22	
3. 13. 1 XML Schema の設計規則 22	3. 14 XML データの検証	
3. 13. 2 XML Schema の名前空間	3. 1 4. 1 XML Schema の設計規則	
3. 13. 4 XML Schema のファイル名		
3. 13. 5 XML Schema によるデータ要素の定義例	3. 1 4. 2 XML Schema の名前空間	
4. ビジネス運用規則 24	3. 1 4 . 3 XML Schema の構造	
4. 1 メッセージ	3. 1 4 . 4 XML Schema のファイル名25	,
4. 1. 1 メッセージファイルの構成単位24	3. 1 4 . 5 XML Schema によるデータ要素の定義例	
4. 1. 2 メッセージファイル名称付与規則25		
4. 1. 2 メッセージファイル名称付与規則254. 1. 3 メッセージの変更・取消の運用27	4. ビジネス運用規則274. 1 メッセージ27	
	4. 1. 1 メッセージファイルの構成単位27	
	4. 1. 2 メッセージファイル名称付与規則	,
	4. 1. 2 メッセージファイル名称付与規則	ı

需給調整市場週間市場商品基準値計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準規格(旧)

1. 業務概要

1. 1 業務目的

需給調整市場における「アグリゲーションコーディネータおよび指令制御・監視方法が簡易指令で指令方式が差分指令の発電機を持つ事業者」(以下、「アグリゲーションコーディネータ等」という。)は、需要抑制を行う際にはその需要予測の妥当性の担保や需要抑制実績を円滑に把握できるよう、発電を行う際には発電実績を円滑に把握できるよう、一般送配電事業者の需給運用に必要な基準値計画等を需給調整市場へ提出する。また、需給調整市場は、受領した基準値計画等を一般送配電事業者に送信し、一般送配電事業者はこれを受信する。

1. 2 対象業務

需給調整市場におけるアグリゲーションコーディネータ等と、一般送配電事業者における基準値計画等の提出、受領、送信および受信に関する業務を対象とする。

1.3 業務イメージ

基準値計画等を提出する際の基本的な業務イメージを図1-1に示す。

事前予測型を選択した アグリゲーションコーディネータ等

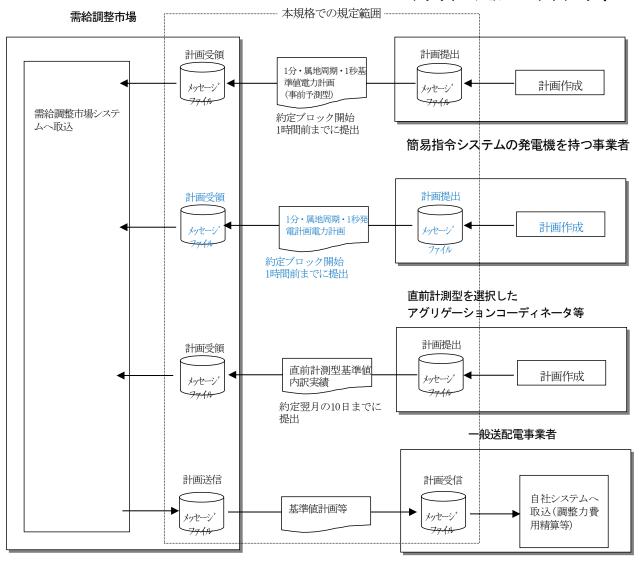


図1-1 業務イメージ

需給調整市場基準値計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準規格(新)

1. 業務概要

1. 1 業務目的

需給調整市場における「アグリゲーションコーディネータおよび指令制御・監視方法が簡易指令で指令方式が差分指令の発電機を持つ事業者」(以下、「アグリゲーションコーディネータ等」という。)は、需要抑制を行う際にはその需要予測の妥当性の担保や需要抑制実績を円滑に把握できるよう、発電を行う際には発電実績を円滑に把握できるよう、一般送配電事業者の需給運用に必要な基準値計画等を需給調整市場へ提出する。また、需給調整市場は、受領した基準値計画等を一般送配電事業者に送信し、一般送配電事業者はこれを受信する。

1. 2 対象業務

需給調整市場におけるアグリゲーションコーディネータ等と、一般送配電事業者における基準値計画等の提出、受領、送信および受信に関する業務を対象とする。

1.3 業務イメージ

基準値計画等を提出する際の基本的な業務イメージを図1-1に示す。

アグリゲーションコーディネータ等

備考

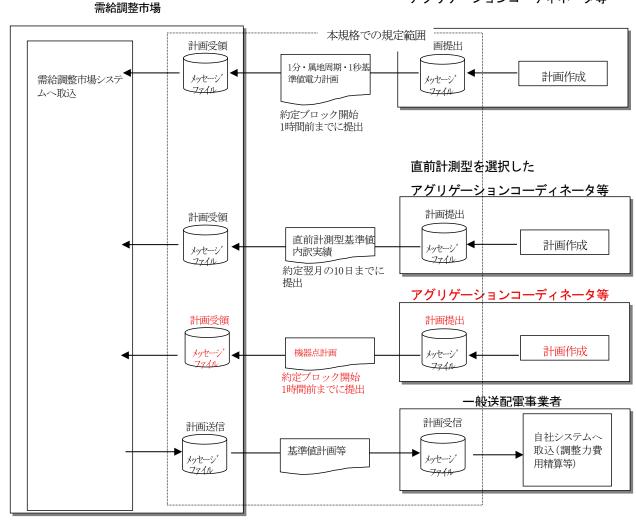


図1-1 業務イメージ

宗給調整市場週間市場商品基準値 終プロセス	計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準	規格(旧)	需給調整市場基準値計画等。 2. 業務プロセス	および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準規格((<mark>新</mark>)
業務フロー			2. 1 業務フロー		
値計画等の基本的な業務フローを表2	-1、図2-1に示す。		基準値計画等の基本的な業務フローを表 2	-1、図2-1に示す。	
表	2-1 基準値計画等の提出に関する説明一覧			2-1 基準値計画等の提出に関する説明一覧	
業務名	説明	備考	業務名	説明	備考
1-1 基準値計画等提出	アグリゲーションコーディネータ等は、需給調整市場 取引規程等に基づき基準値計画等を作成し、需給調整 市場へ提出する。 ※なお、同一のリソースが、同一提供期間で、三次調 整力②にも同時に約定している場合、基準値計画等の		1-1 基準値計画等提出	アグリゲーションコーディネータ等は、需給調整市場 取引規程等に基づき基準値計画等を作成し、需給調整 市場へ提出する。 ※なお、同一のリソースが、同一提供期間で、三次調 整力②にも同時に約定している場合、基準値計画等の	
1-2 基準値計画等受領・送信	提出が必要なことに留意すること。 需給調整市場は、アグリゲーションコーディネータ等から 提出される基準値計画等を需給調整市場システムに取込 む。 また、アグリゲーションコーディネータ等から受領した基 準値計画等を一般送配電事業者へ送信する。		1-2 基準値計画等受領・送信	提出が必要なことに留意すること。 需給調整市場は、アグリゲーションコーディネータ等から 提出される基準値計画等を需給調整市場システムに取込 む。 また、アグリゲーションコーディネータ等から受領した基 準値計画等を一般送配電事業者へ送信する。	
1-3 基準値計画等受信	一般送配電事業者は、需給調整市場から送信される基準 値計画等を自社システムに取込み、調整力費用精算等 の業務を行う。		1-3 基準値計画等受信	一般送配電事業者は、需給調整市場から送信される基準 値計画等を自社システムに取込み、調整力費用精算等 の業務を行う。	
アグリゲーション コーディネータ等	1-1 基準値計画等 提出		アグリゲーション コーディネータ等	1-1 基準値計画等 提出	
需給調整市場	1-2 基準値計画等 受領・送信		需給調整市場	1-2 基準値計画等 受領・送信	
一般送配電事業者	1-3 基準値計画等 受信		一般送配電事業者	1 − 3 基準値計画等 受信	
	図2-1 業務フロー			図2-1 業務フロー	

新旧対照表 需給調整市場週間市場商品基準値計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準規格(旧) 需給調整市場基準値計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準規格(新) 備考 2. 2 メッセージー覧 2. 2 メッセージー覧 本規格で規定する標準メッセージを表2-2に示す。 本規格で規定する標準メッセージを表2-2に示す。 表2-2 標準メッセージ一覧 表 2 - 2 標準メッセージ一覧 メッセージ名称 メッセージ名称 説明 説明 需給調整市場における基準 需給調整市場における週間 需給調整市場の週間市場商品において選択した各リスト・パターンに 需給調整市場において選択した各リスト・パターンにおける需要抑制 市場商品事前予測型基準値計 おける需要抑制を行わない場合の1分・属地周期・1秒ごとの予測需 値計画 を行わない場合の1分・属地周期・1秒ごとの予測需要 要 需給調整市場における直前 需給調整市場において選択した各リスト・パターンにおける需要抑制 需給調整市場における直前 需給調整市場の週間市場商品において選択した各リスト・パターンに 計測型基準値内訳実績 を行わない場合の予測需要の小売事業者ごとの内訳(※但し予測需要 基準値計画等メッセー 計測型基準値内訳実績 おける需要抑制を行わない場合の予測需要の小売事業者ごとの内 とする需要実績の平均値は、次のとおりとする) 訳(※但し約定した商品ブロック開始の5分前から開始時刻までの ・三次調整力①および二次調整力②の場合、約定した商品ブロック開 分ごとの需要実績の平均値を予測需要とする) 始の5分前から開始時刻までの1分ごとの需要実績の平均値。 ・二次調整力①および一次調整力で監視方法が専用線オンラインの場 需給調整市場における発電 需給調整市場の週間市場商品において発電による電力供出を行われ 合、約定した商品ブロック開始の5分前から開始時刻までの属地エ 計画電力計画 い場合の1分・属地周期・1秒ごとの発電計画電力計画 リアの一般送配電事業者と調整した送信周期ごとの需要実績の予 均值。 基準値計画等メッセー ・一次調整力で監視方法がオフラインの場合、約定した商品ブロック 開始の5分前から開始時刻までの1秒ごとの需要実績の平均値。 ・逐次計測型を選択し、監視方法が専用線オンラインの場合、約定プ ロックの5分ごとの区切りの開始時刻の直前5分間の属地エリアの 一般送配電事業者と調整した送信周期ごとの需要実績の平均値の 30分ごとの平均値(6点の平均値)。 ・逐次計測型を選択し、監視方法がオフラインの場合、約定ブロック の5分ごとの区切りの開始時刻の直前5分間の1秒ごとの需要実績の 平均値の30分ごとの平均値(1点の平均値)。 需給調整市場における発電 需給調整市場の一次~三次①・複合市場商品において発電による電力 計画電力計画 供出を行わない場合の1分・属地周期・1秒ごとの発電計画電力計画

需給調整市場週間市場商品基準値計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準規格(旧)

3. 標準メッセージ

3. 1 構文規則

シンタックスルールは、「XML 1.0(W3C勧告)http://www.w3.org/TR/REC-xml/」を準用する。

3.2 XML のデータ構造

(a) 論理レコードの種類

XMLデータを構成する論理レコードを表3-1に示す。

表3-1 論理レコードの種類

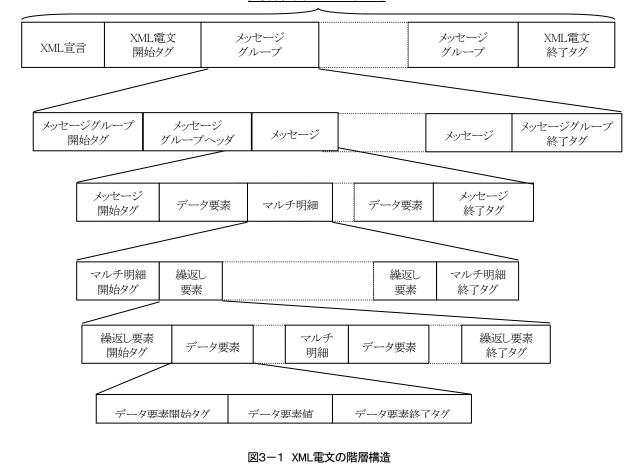
論理レコードの種類
メッセージグループヘッダ
業務メッセージ

(b) 階層構造

XML電文の階層構造を図3-1に示す。

なお、本標準のメッセージファイルは、1つのメッセージグループで構成され、かつ、当該メッセージグループは、1つのメッセージで構成される。

交換単位(メッセージファイル)



3. 標準メッセージ

3.1 構文規則

シンタックスルールは、「XML 1.0(W3C勧告)http://www.w3.org/TR/REC-xml/」を準用する。

3. 2 XML のデータ構造

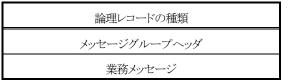
(a) 論理レコードの種類

XMLデータを構成する論理レコードを表3-1に示す。

表3-1 論理レコードの種類

需給調整市場基準値計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準規格(新)

備考

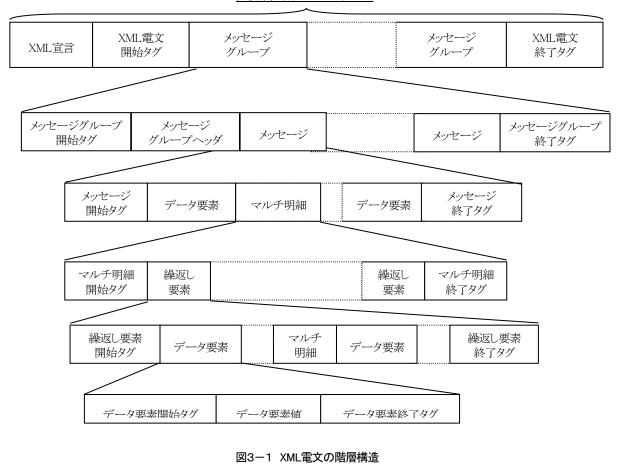


(b) 階層構造

XML電文の階層構造を図3-1に示す。

なお、本標準のメッセージファイルは、1つのメッセージグループで構成され、かつ、当該メッセージグループは、1つのメッセージで構成される。

交換単位(メッセージファイル)



需給調整市場週間市場商品基準値計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準規格(旧)

3.3 構成要素とXML タグ名称付与規則

「図3-1 XML電文の階層構造」の構成要素とタグ名を表3-2に、構成要素の属性を表3-3に、本標準におけるXML構造の表現例を図3-2に示す。

表3-2 構成要素とタグ名一覧

構成要素	タグ名	備 考
交換単位	MMS-MSG	先頭要素名 需給調整市場:MMS-MSG
メッセージグループ	JPMGRP	
メッセージグループヘッダ	JPMGH	
業務メッセージ	JPTRM	
マルチ明細	JPMxxxxx	データ要素タグ名は、マルチ明細の明細番号(数字5桁)の頭に "JPM"を付加して表現する。
繰返し要素	JPMRxxxxx	データ要素タグ名は、マルチ明細の明細番号(数字5桁)の頭に "JPMR"を付加して表現する。
データ要素	JPxxxxx	データ要素タグ名は、英数字(JIS-X0201)の5桁で表現されたタグ番号の頭に"JP"を付加して表現する。

表3-3 構成要素の属性一覧

タグ名	属性名	桁数	説明	許容値
	BPID	X(4)	BPID機関コード	"OCTO"固定
	BPIDSUB	X(2)	BPID副機関コード	"W9"固定
MMS-MSG	BPIDVER	X(2)	各ビジネスプロトコル標準規格の版	"3A"固定
	MSGID	X(4)	情報区分コード	"0131", "0331", "0431"**
	MAPVER	X(6)	シンタックスルールの版	"1.0-1A"固定
JPMGRP	SEQ	9(5)	メッセージグループのシーケンス番号	"1"からの昇順
JPTRM	SEQ	9(5)	メッセージのシーケンス番号	"1"からの昇順

を"0431"とする。

需給調整市場基準値計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準規格(新)

3.3 構成要素とXML タグ名称付与規則

「図3-1 XML電文の階層構造」の構成要素とタグ名を表3-2に、構成要素の属性を表3-3に、本標準におけるXML構造の表現例を図3-2に示す。

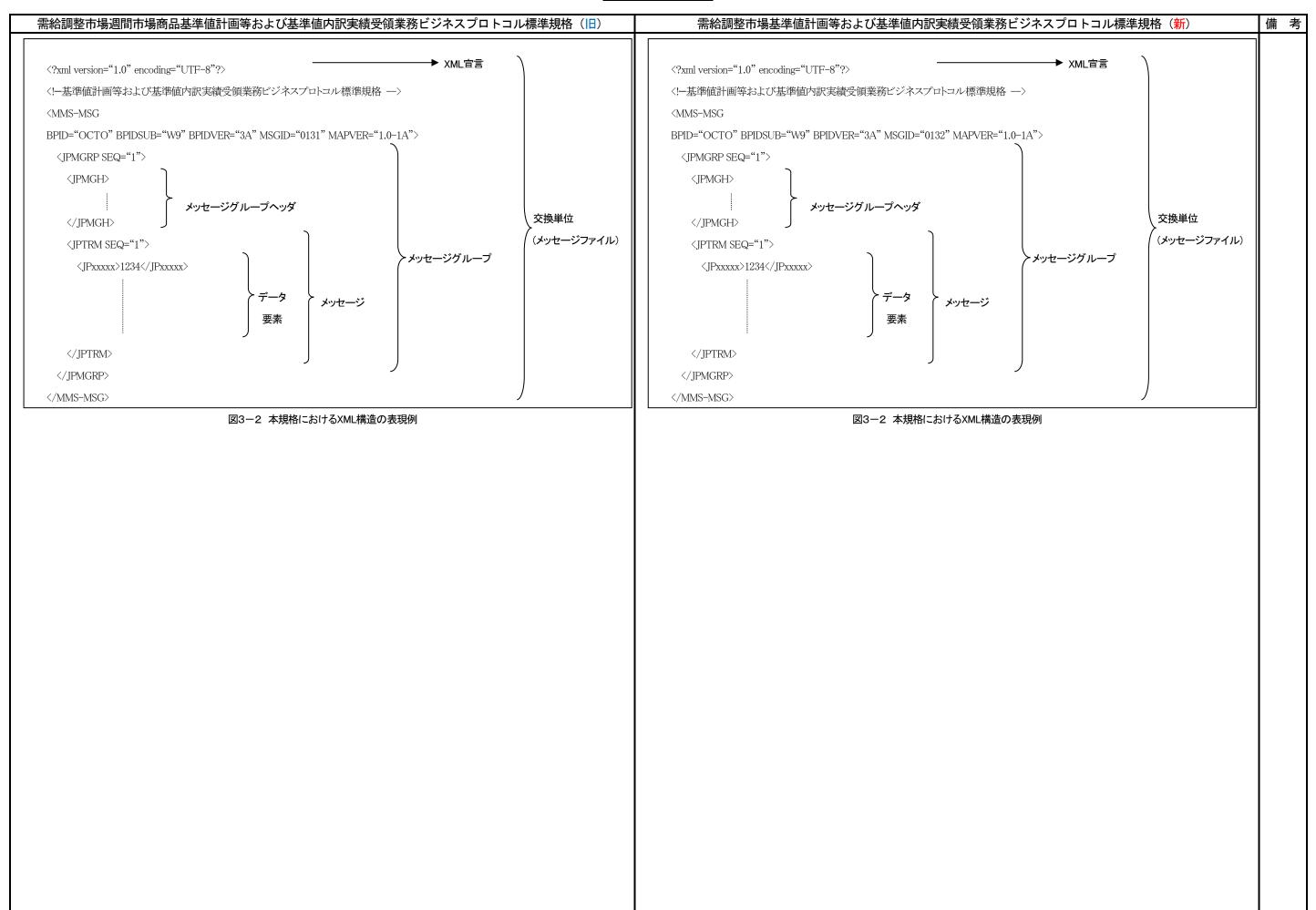
表3-2 構成要素とタグ名一覧

構成要素	タグ名	備考
交換単位	MMS-MSG	先頭要素名 需給調整市場:MMS-MSG
メッセージグループ	JPMGRP	
メッセージグループヘッダ	JPMGH	
業務メッセージ	JPTRM	
マルチ明細	JPMxxxxx	データ要素タグ名は、マルチ明細の明細番号(数字5桁)の頭に "JPM"を付加して表現する。
繰返し要素	JPMRxxxxx	データ要素タグ名は、マルチ明細の明細番号(数字5桁)の頭に "JPMR"を付加して表現する。
データ要素	JPxxxxx	データ要素タグ名は、英数字(JIS-X0201)の5桁で表現されたタグ番号の頭に"JP"を付加して表現する。

表3-3 構成要素の属性一覧

タグ名	属性名	桁数	説明	許容値
	BPID	X(4)	BPID機関コード	"OCTO"固定
	BPIDSUB	X(2)	BPID副機関コード	"W9"固定
MMS-MSG	BPIDVER	X(2)	各ビジネスプロトコル標準規格の版	"3A"固定
	MSGID	X(4)	情報区分コード	"0132", "0331", "0431", "0532" [*]
	MAPVER	X(6)	シンタックスルールの版	"1.0-1A"固定
JPMGRP	SEQ	9(5)	メッセージグループのシーケンス番号	"1"からの昇順
JPTRM	SEQ	9(5)	メッセージのシーケンス番号	"1"からの昇順

"0532"とする。



需給調	整市場週間市場商品基	準値計画	等および基準値内訳実績	責受領業務ビジネスプロトコル標準規格(旧) □		需給調整市場基準値計	画等およ	び基準値内訳実績受領第	美務ビジネスプロトコル標準規格(新) 備
3. 4 メッセ	<u>ヱ</u> ージグループヘッダ				3. 4 メッセ	<u>ヱ</u> ージグループヘッダ			
メッセー	ジグループヘッダの必須項	目を表3-4	は示す。		メッセー	ジグループヘッダの必須項	〔目を表3-4	4に示す。	
表3-4 メッセージグループヘッダのデータ要素(必須項目)					表3-4 .	メッセージグループヘッダのデ	一夕要素(必須項目)		
タグ名	データ要素名	属性	コード値	意味	タグ名	データ要素名	属性	コード値	意味
TD COO	VEIII - La	77(4)	1	テストデータ	TDG00	VEIII La	17(4)	1	テストデータ
JPC03	運用モード	X(1)	0 or △	通常データ	JPC03	運用モード	X(1)	0 or △	通常データ
IPC06	発信者コード	X(12)	先頭5桁を本機関が設定する	5「事業者コード(5桁)」とし、	JPC06	発信者コード	X(12)	先頭5桁を本機関が設定する	5「事業者コード(5桁)」とし、
JPC09	受信者コード	X(12)	残り7桁を"0"とした12桁のコ	一ドを使用する	JPC09	受信者コード	X(12)	残り7桁を"0"とした12桁のコ	一ドを使用する
JPC10	BPID機関コード	X(4)	ОСТО	ビジネスプロトコルを制定した機関名	JPC10	BPID機関コード	X(4)	ОСТО	ビジネスプロトコルを制定した機関名
JPC11	BPID副機関コード	X(2)	W9	需給調整市場基準値計画および各リスト・パターン等受領 業務	JPC11	BPID副機関コード	X(2)	W9	需給調整市場基準値計画および各リスト・パターン等受領 業務
JPC12	BPID版	X(2)	3A	基準値計画等受領業務の版 各リスト・パターン等受領業務の版	JPC12	BPID版	X(2)	3A	基準値計画等受領業務の版 各リスト・パターン等受領業務の版
JPC14	情報区分コード	X(4)	0131,0331,0431 のいずれか	商品区分に応じて情報区分を設定 ・0131:週間市場商品事前予測型基準値計画 ・0331:直前計測型基準値内訳実績 ・0431:発電計画電力計画 メッセージグループの作成日付時刻(YYMMDDHHMMSS)	JPC14	情報区分コード	X(4)	0132,0331,0431,0532 のいずれか	商品区分に応じて情報区分を設定 ・0132:基準値計画 ・0331:直前計測型基準値内訳実績 ・0431:発電計画電力計画 ・0532:機器点計画
JPC19	作成日付時刻 構文規則識別版数	X(12) X(6)	YYMMDDHHMMSS 1.0-1A	を示す。(年は西暦の下2桁) シンタックスルールの版	JPC19	作成日付時刻	X(12)	YYMMDDHHMMSS	メッセージグループの作成日付時刻(YYMMDDHHMMSS) を示す。(年は西暦の下2桁)
JPC21	1件。人人允只归取力引加义安区	Λ(0)	1.0 IA	227777AV TVOJIK	JPC21	構文規則識別版数	X(6)	1.0-1A	シンタックスルールの版

需給調整市場週間市場商品基準値計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準規格(旧)

3.5 マルチ明細の構造

マルチ明細の構造を図3-3に示す。全体構成については、「図3-1 XML電文の階層構造」を参照。

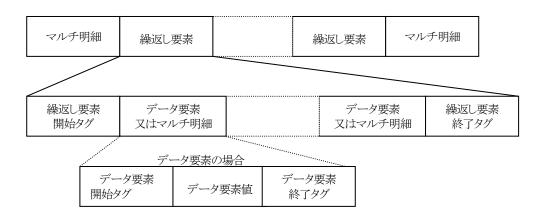


図3-3 マルチ明細構造

3.6 マルチ明細タグ名

マルチ明細のタグ名を表3-5に、マルチ明細構造の表現例を図3-4に示す。

表3-5 マルチ明細タグ名

名称	タグ名	属性	備考
マルチ明細開始	JPMxxxxx		タグ名中のxxxxxは明細番号を利用し、
マルチ明細終了	JPMxxxxx		"00010"から"65535"の範囲とする。
繰返し要素開始	JPMRxxxxx		
繰返し要素終了	JPMRxxxxx		

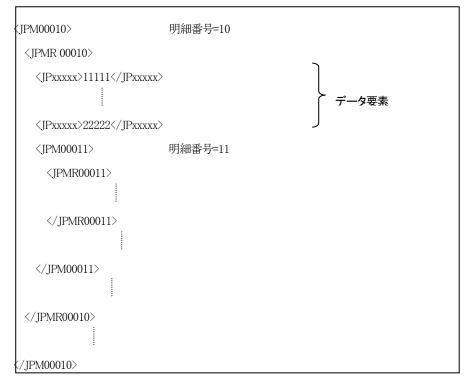
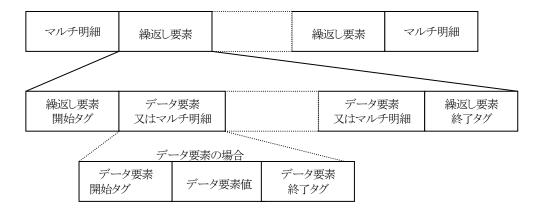


図3-4 マルチ明細構造の表現例

3.5 マルチ明細の構造

マルチ明細の構造を図3-3に示す。 全体構成については、「図3-1 XML電文の階層構造」を参照。



需給調整市場基準値計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準規格(新)

備考

図3-3 マルチ明細構造

3.6 マルチ明細タグ名

マルチ明細のタグ名を表3-5に、マルチ明細構造の表現例を図3-4に示す。

表3-5 マルチ明細タグ名

名称	タグ名	属性	備考
マルチ明細開始	JPMxxxxx		タグ名中のxxxxxは明細番号を利用し、
マルチ明細終了	JPMxxxxx		"00010"から"65535"の範囲とする。
繰返し要素開始	JPMRxxxxx		
繰返し要素終了	JPMRxxxxx		

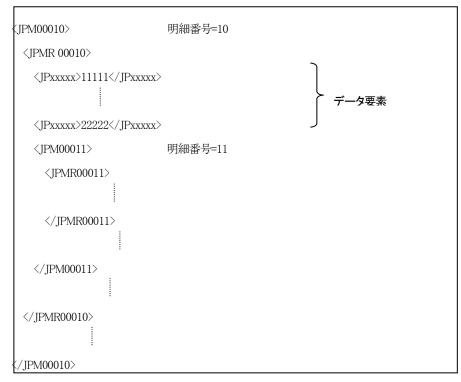


図3-4 マルチ明細構造の表現例

需給調整市場週間市場商品基準値計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準規格(旧)

3.7 空の繰返し要素の省略

空の繰返し要素は省略することを基本とするが、省略した繰返し要素が何番目の繰返し要素であるかを明示する必要がある場合は、空の繰返し要素の位置に空の繰返し要素を残す。ただし、この時もその繰返し要素の後ろの繰返し要素もすべて空の場合は、空の繰返し要素を省略する。(図3-5)

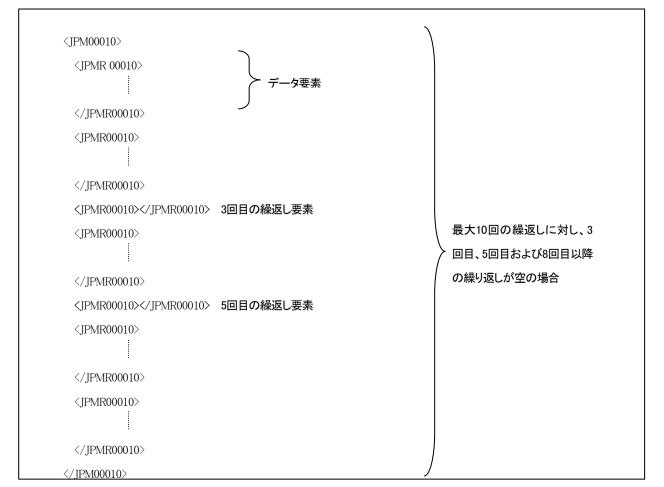


図3-5 マルチ明細構造 空繰返しの表現例

3.8 メッセージを構成するデータ要素における空等の扱い

メッセージを構成するデータ要素は可変長であり、空(入力データがない場合)、文字データにおけるスペース、および数値データにおける ゼロの扱いについて、以下のとおり規定する。

(a) 空のデータ要素の扱い

空のデータ要素の扱いを表3-6に示す。

表3-6 空のデータ要素の扱い

	例			
内容	送信側入力値	データ要素		
空の場合は、データ要素を省略する。	(空)	(省略)		

需給調整市場基準値計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準規格(新)

備考

3.7 空の繰返し要素の省略

空の繰返し要素は省略することを基本とするが、省略した繰返し要素が何番目の繰返し要素であるかを明示する必要がある場合は、空の繰返し要素の位置に空の繰返し要素を残す。ただし、この時もその繰返し要素の後ろの繰返し要素もすべて空の場合は、空の繰返し要素を省略する。(図3-5)

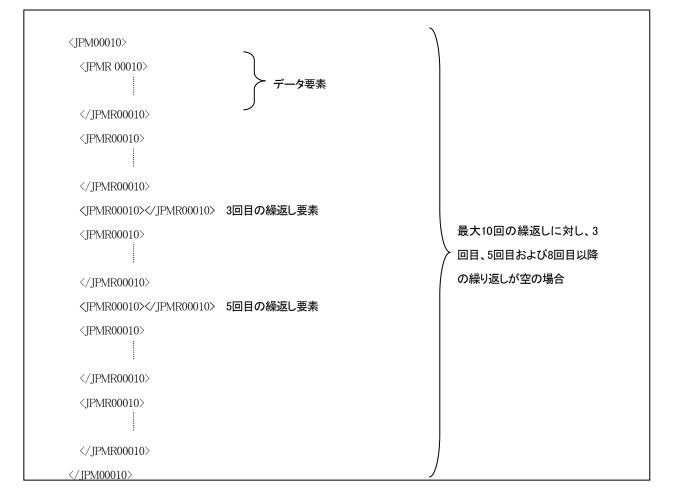


図3-5 マルチ明細構造 空繰返しの表現例

3.8 メッセージを構成するデータ要素における空等の扱い

メッセージを構成するデータ要素は可変長であり、空(入力データがない場合)、文字データにおけるスペース、および数値データにおける ゼロの扱いについて、以下のとおり規定する。

(a) 空のデータ要素の扱い

空のデータ要素の扱いを表3-6に示す。

表3-6 空のデータ要素の扱い

		例
内容	送信側入力値	データ要素
空の場合は、データ要素を省略する。	(空)	(省略)

需給調整市場週間市場商品基準値計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準規格(旧)

(b) X属性のデータ要素における半角スペースの扱い

X属性のデータ要素における半角スペースの扱いを表3-7に示す。

表3-7 X属性のデータ要素における半角スペース

我の / 八周江の / ラ安宗にの アカハ・ ハ					
1.45	例(注)				
内容	送信側入力値	データ要素			
(1)最も右側にある半角スペース以外の文字よりも更に右側の半角スペー					
スおよび最も左側にある半角スペース以外の文字よりも更に左側の半	$\triangle A \triangle$	<jpxxxxx>A</jpxxxxx>			
角スペースを省略する。					
(2)すべての桁が半角スペースの場合は、データ要素を省略する。	$\triangle \triangle \triangle$	(省略)			

(注)△は半角スペースを示す。

(c) 9属性におけるゼロの扱い

9属性におけるゼロの扱いを表3-8に示す。

表3-8 9属性のデータ要素におけるゼロの扱い

	例			
内容	送信側入力値	データ要素		
(1)最も左側にあるゼロ以外の数値よりも更に左側のゼロを省略する。	012	⟨JPxxxxx⟩12⟨/JPxxxxx⟩		
(2)すべての桁がゼロの場合は、"0"とする。	000	<jpxxxxx>0</jpxxxxx>		

(d) N属性におけるゼロ等の扱い

N属性のデータ要素におけるゼロ等の扱いを表3-9に示す。

表3-9 N属性のデータ要素におけるゼロ等の扱い

darte	例			
内容	送信側入力値	データ要素		
(1)もっとも左側にあるゼロ以外の数値よりもさらに左側のゼロを省略する。	-012	<jpxxxxx>-12</jpxxxxx>		
	000			
(2)すべての桁が正負符号又はゼロの場合は、"0"とする。	+0	<jpxxxxx>0</jpxxxxx>		
	-0			
(3)正符号は省略する。	+123	<jpxxxxx>123</jpxxxxx>		
ただし、正符号を表示する場合は、データ要素定義の上で注意すること。				

需給調整市場基準値計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準規格(新)

備考

(b) X属性のデータ要素における半角スペースの扱い

X属性のデータ要素における半角スペースの扱いを表3-7に示す。

表3-7 X属性のデータ要素における半角スペース

X0 / //MIE0/ / XX/(100/) 0 / // / / /				
11.00	例(注)			
内容	送信側入力値	データ要素		
(1)最も右側にある半角スペース以外の文字よりも更に右側の半角スペー				
スおよび最も左側にある半角スペース以外の文字よりも更に左側の半	$\triangle A \triangle$	<jpxxxxx>A</jpxxxxx>		
角スペースを省略する。				
(2)すべての桁が半角スペースの場合は、データ要素を省略する。	$\triangle \triangle \triangle$	(省略)		

(注)△は半角スペースを示す。

(c) 9属性におけるゼロの扱い

9属性におけるゼロの扱いを表3-8に示す。

表3-8 9属性のデータ要素におけるゼロの扱い

the state of the s	例			
内容	送信側入力値	データ要素		
(1)最も左側にあるゼロ以外の数値よりも更に左側のゼロを省略する。	012	⟨JPxxxxx⟩12⟨/JPxxxxx⟩		
(2)すべての桁がゼロの場合は、"0"とする。	000	<jpxxxxx>0</jpxxxxx>		

(d) N属性におけるゼロ等の扱い

N属性のデータ要素におけるゼロ等の扱いを表3-9に示す。

表3-9 N属性のデータ要素におけるゼロ等の扱い

+177	例			
内容	送信側入力値	データ要素		
(1)もっとも左側にあるゼロ以外の数値よりもさらに左側のゼロを省略する。	-012	<jpxxxxx>-12</jpxxxxx>		
	000			
(2)すべての桁が正負符号又はゼロの場合は、"0"とする。	+0	<jpxxxxx>0</jpxxxxx>		
	-0			
(3)正符号は省略する。 ただし、正符号を表示する場合は、データ要素定義の上で注意すること。	+123	⟨JPxxxxx⟩123⟨/JPxxxxx⟩		

需給調整市場週間市場商品基準値計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準規格(旧)

3.9 データ属性の表記法

データ属性の表記方法を表3-10に示す。

表3-10 データ属性の表記方法

属性	属性表記	説明	
半角文字列	X(n) n:最大文字数	英数字、カナなどの1バイト文字で構成される文字列データ要素。 なお、"改行"、"タブ"を含んではならない。また、データ内のXML予約語("<"、 ">"、"&"、"apos"、"quot")は、XMLの表記に従う。 (例)A+B <cは、a+b<:cと表記 td="" カッコ内の文字数に、漢字などの全角文字1文字は、2文字として桁数を表記する。<=""><td>(注1) (注2)</td></cは、a+b<:cと表記>	(注1) (注2)
全角文字列	K(n) n:最大文字数	漢字などの2バイト文字で構成される文字列データ要素。 カッコ内の文字数に、漢字などの全角文字1文字は、2文字として桁数を表記する。	(注2)
符号無 数値データ	9(n) n:整数部桁数	「0」~「9」までの数字だけで構成される数値データ要素。	(注3)
符号付 数値データ	N(n) N(n)V(m) n:整数部桁数 m:小数部桁数	「0」~「9」までの数字、正負符号(「+」および「-」)および小数点(「.」)で構成される数値データ要素。 (例) N(10)V(3)→整数部最大桁数10、小数部最大桁数3 ※正負符号および小数点は桁数に含めない。	
年月日	Y(8)	「0」~「9」までの数字で構成される年月日データ要素。 年は、西暦日付で表記する。(YYYYMMDD)	

- (注1)全角文字と半角文字が混在する場合は、X属性を用いる。
- (注2)文字コードにUTF-8を採用しているため、カッコ内の桁数より実際のバイト数が増加する場合がある。
- (注3)小数を扱う場合は、N属性を用いる。

需給調整市場基準値計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準規格(新) 3.9 データ属性の表記法

データ属性の表記方法を表3-10に示す。

表3-10 データ属性の表記方法

備考

属性	属性表記	説明	
/科 上	内山北江	英数字、カナなどの1バイト文字で構成される文字列データ要素。	
	V()	なお、"改行"、"タブ"を含んではならない。また、データ内のXML予約語("<"、	(;}- 1)
半角文字列	X(n) n:最大文字数	">"、"&"、"apos"、"quot")は、XMLの表記に従う。	(注1) (注2)
	Ⅱ.取八叉子奴	(例)A+B <cは、a+b<:cと表記< td=""><td>(社2)</td></cは、a+b<:cと表記<>	(社2)
		カッコ内の文字数に、漢字などの全角文字1文字は、2文字として桁数を表記する。	
全角文字列	K(n)	漢字などの2バイト文字で構成される文字列データ要素。	(注2)
王州大丁州	n:最大文字数	カッコ内の文字数に、漢字などの全角文字1文字は、2文字として桁数を表記する。	(1112)
符号無	9(n)	「0」~「9」までの数字だけで構成される数値データ要素。	(注3)
数値データ	n:整数部桁数	10」「切よくの数寸/こり(情似で4万の数値) / 安米。	(1±3)
	N(n)	「0」~「9」までの数字、正負符号(「+」および「-」)および小数点(「.」)で構成される数	
符号付	N(n)V(m)	値データ要素。	
数値データ	n:整数部桁数	(例) N(10)V(3)→整数部最大桁数10、小数部最大桁数3	
	m:小数部桁数	※正負符号および小数点は桁数に含めない。	
年月日	Y(8)	「0」~「9」までの数字で構成される年月日データ要素。	
一 一	1(0)	年は、西暦日付で表記する。(YYYYMMDD)	

- (注1)全角文字と半角文字が混在する場合は、X属性を用いる。
- (注2)文字コードにUTF-8を採用しているため、カッコ内の桁数より実際のバイト数が増加する場合がある。
- (注3)小数を扱う場合は、N属性を用いる。

需給調整市場週間市場商品基準値計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準規格(旧)

需給調整市場基準値計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準規格(新) 3.10 基準値計画関係メッセージのデータ要素

3.10 事前予測型基準値計画関係メッセージのデータ要素

基準値計画関係メッセージのデータ要素を表3-11に示す。

週間市場商品の事前予測型基準値計画関係メッセージのデータ要素を表3-11に示す。

		週間市場商品事前予測型基準値計画関係メッセージの 5 	共通	使用		\$	繰り返し
タグ名	データ要素名	説明	コード (注1)	区分 (注2)	属性	番号	最大回数
JP00002	情報区分コード	メッセージの種類を示すコード ・0131、事前予測型基準値計画(週間市場商品)	0	•	X(4)		
JP06170	情報区分名称	メッセージの種類の名称 ・週間市場事前予測型基準値計画		A	X(50)		
JP06110	送信者コード	当該ファイルを送信する事業者を示すコード	0	•	X(5)		
JP06111	送信者名称	当該ファイルを送信する事業者の名称		A	X(50)		
JP06358	提出先事業者コード	当該ファイルを需給調整市場から転送する一般送配電事業者を示すコード	0	•	X(5)		
JP06359	提出先事業者	名称当該ファイルを需給調整市場から転送する一般送配電事業者の名称		A	X(50)		
JP06700	アグリゲーションコーディネータ用系統コード	アグリゲーションコーディネータ用系統コード	0	0	X(5)		
JP06701	アグリゲーションコーディネータ名称	アグリゲーションコーディネータ名称		A	X(50)		
JP06171	対象期間開始年月日	計画が対象とする期間の開始年月日 YYYYMMDD		•	Y(8)		
JP06702	対象ブロック	対象プロック(1.0時〜3時2.3時〜6時,3:6時〜9時,4.9時〜12時,5:12時〜15時,6:15時〜18時,7:18時〜21時,8:21時〜24時)		•	X(1)		
JP06703	パターン番号	各リスト・パターンのパターン番号を示すコード(01~20)		•	X(2)		
JP06613	帳票作成支援ツール	帳票作成支援ソールバージョン(帳票作成支援ソールから自動生成)		•	X(50)		
						M10	8
JP06219	時刻コード	30分刻みの時間滞を示すコード (01~48)	0	•	X(2)		
JP06704	アグリゲーションコーディネータ合計基準値	アグリゲーションコーディネータの合計基準値(kWh)		•	N(9)		
						M10	
						M11	999
JP06316	事業者コード	需要リソースに電気を供給している小売電気事業者を示すコード	0	•	X(5)		
JP06317	小売電気事業者名称	需要リソースに電気を供給している小売電気事業者の名称		A	X(50)		
						M12	8
JP06219	時刻コード	30分刻みの時間帯を示すコード (01~48)	0	•	X(2)		
JP06705	基準値(小売電気事業者計)	小売電気事業者毎の基準値(kWh)		•	N(9)		
						M12	
						M11	
						M13	8
JP06219	時刻コード	30分刻みの時間帯を表すコード(01~48)	0	•	X(2)		
						M14	30
JP06713	タイムスロット	30分内の1分刻みを示すコード(01~30)	0	•	X(2)		
JP06714	1分基準値電力(事前予測型)	1分每合計基準値電力(W)		•	N(9)		
						M15	0-6
JP06718	タイムビート	1分以内の属地エリアの一般送配電事業者ごとのデータ取得周期刻み(秒)を示すコード(01~60)	0	•	X(2)		
JP06720	属地周期基準値電力(事前予測型)	属地エリアの一般送配電事業者のデータ取得周期毎合計基準値電力(kW)		•	N(9)		

表3-11	基準值計画関係外	セージのデータ要素
-------	----------	-----------

備考

			共通コード	使用	_	i	繰り返し
タグ名	データ要素名	説明	(注1)	区分 (注2)	属性	番号	最大回数
JP00002	情報区分コード	メッセージの種類を示すコード ・0132:基準値計画	0	•	X(4)		
JP06170	情報区分名称	メッセージの種類の名称 ・基準値計画		•	X(50)		
JP06110	送信者コード	当該ファイルを送信する事業者を示すコード	0	•	X(5)		
JP06111	送信者名称	当該ファイルを送信する事業者の名称		•	X(50)		
JP06358	提出先事業者コード	当該ファイルを需給調整市場から転送する一般送配電事業者を示すコード	0	•	X(5)		
JP06359	提出先事業者	名称当該ファイルを需給調整市場から転送する一般送配電事業者の名称		A	X(50)		
JP06700	アグリゲーションコーディネータ用系統コード	アグリゲーションコーディネータ用系統コード	0	0	X(5)		
JP06701	アグリゲーションコーディネータ名称	アグリゲーションコーディネータ名称		•	X(50)		
JP06171	対象期間開始年月日	計画が対象とする期間の開始年月日 YYYYMMDD		•	Y(8)		
JP06613	帳票作成支援ツール	帳票作成支援ソールバージョン(帳票作成支援ソールから自動生成)		•	X(50)		
						M10	1-50
JP06703	パターン番号	各リスト・パターンのパターン番号を示すコード(001~500)		•	X(3)		
						M11	,
JP06219	時刻コード	30分刻みの時間帯を示すコード (01~48, Y7, Y8) ※「Y7」に前日の47コマ分、「Y8」に前日の48コマ分を登録	0	A	X(2)		
JP06704	アグリゲーションコーディネータ合計基準値	アグリゲーションコーディネータの合計基準値(kWh)		•	N(9)		
						M11	
						M12	1-9999
JP06316	事業者コード	需要リソースに電気を供給している小売電気事業者を示すコード	0	•	X(5)		
JP06317	小売電気事業者名称	需要リソースに電気を供給している小売電気事業者の名称		•	X(50)		
JP06300	低圧発電BGコード	低圧発電リソース群が属している発電BGを示すコード ※ 低圧群で参入する場合は登録必要、BGコード無Lの場合は空欄	0	A	X(5)		
JP06301	低圧発電BG名称	低圧発電リソース群が属している発電BGの名称 ※ 低圧群で参入する場合は登録必要、BGコード無しの場合は空欄		A	X(50)		
						M13	
JP06219	時刻コード	30分刻みの時間帯を示すコード (01~48, Y7, Y8) ※「Y7」に前日の47コマ分、「Y8」に前日の48コマ分を登録	0	•	X(2)		
JP06705	基準値(小売電気事業者・低圧発電BG計)	小売電気事業者・低圧発電BG毎の基準値(kWh)		•	N(9)		
						M13	
						M12	
						M10	
						M14	0
JP06219	時刻コード	30分刻みの時間帯を表すコード(01~48)	0	•	X(2)		

) 小口	前班金川场迎间川场间的空台	単値計画等および基準値内訳実績受領	未伤しノイベノ	<u> </u>	が保守	- 人尤作古	(ID)		而和帥金川场基件但刊	画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプ	בקם	かまな	= 人尤作	(利)	
						M15		JP06724	基準値採用パターン番号	当該時刻コード時間帯で採用する基準値計画のパターン番号		A	X(3)		
						M16	0-60							M14	
	セカンドスロット	1分以内の1秒刻みを示すコード(01~60)	0	•	X(2)									M15	
	1秒基準値電力(事前予測型)	1秒每合計基準値電力(kW)		•	N(9)			JP06219	時刻コード	30分刻みの時間帯を表すコード(01~48)		•	X(2)		
						M16								M16	30
						M14		JP06713	タイムスロット	30分内の1分刻みを示すコード(01~30) ※ 複合、一次調整カ~三次調整カ①に約定している場合は登録必要	0	•	X(2)		
						M13		JP06714	1分基準値電力(事前予測型)	1分毎合計基準値電力(kW) ※ 複合、一次調整カ〜三次調整力①に約定している場合は登録必要		•	N(9)		
	○:標準として定める共通									※ 18日、 久崎正月 一人前正月 リー・リルじ くい かず日 は五年 東ルタ				M17	0-60
		ッセージを識別するためのキー項目)						JP06718	タイムビート	1分以内の属地エリアの一般送配電事業者ごとのデータ取得周期刻み(秒)を示すコ	0	•	X(2)	7	0 00
	〇:必須項目(空欄不可)							JP06720	属地周期基準値電力(事前予測型)	ード(01~60) 属地エリアの一般送配電事業者のデータ取得周期毎合計基準値電力(kW)		•	N(9)		
	▲:任意項目(項目使用、	空欄許容)						JF00720	海心的对金干但电力(李柏),《水土)				14(9)	M17	
														M18	0-60
								JP06719	セカンドスロット	1分以内の1秒刻みを示すコード(01~60)	0	•	X(2)	WITO	0 00
								JP06721							
								JP06721	1秒基準値電力(事前予測型)	1秒每合計基準値電力(kW)		•	N(9)	M18	
														M16 M15	

需給調整市場週間市場商品基準値計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準規格(旧)

3.11 直前計測型基準値内訳実績メッセージのデータ要素

直前計測型基準値内訳実績メッセージのデータ要素を表3-12に示す。

表3-12 直前計測型基準値内訳実績メッセージのデータ要素

JP00012 情報区分コード	,
タグ名 データ要素名 説明 コード (注1) 区分 (注2) 展性 本がる 番号 最 JP00002 情報区分コード メッセージの種類を示すコード ・0331・直前計画型基準値内放映績 O ● X(4) X(50) JP06170 情報区分名称 ・直前計画型基準値内放映績 A X(50) A X(50) JP06110 送信者コード 当該ファイルを送信する事業者の名称 A X(50) A X(50) JP06111 送信者名称 当該ファイルを送信する事業者の名称 A X(50) A X(50) JP06338 提出先事業者コード 当該ファイルを需給調整市場から転送する一般送配電事業者の名称 A X(50) A X(50) JP06700 アグリゲーションコーディネータ用系統コード O X(5) A X(50) JP06701 アグリゲーションコーディネータ用系統コード O X(5) A X(50) JP06701 アグリゲーションコーディネータ名称 アグリゲーションコーディネータ名称 A X(50) A X(50) JP06702 対象プロック 時第718時~21時~21時~21時~21時~17時~15時~15時~15時~15時~15時~15時~15時~16年~17時~21時~21時~21時~21時~21時~21時~21時~21時~21時~21	,
JPO0002 情報区分コード	
JP00002	
JP00022	大回数
JPO6170	
JP06170 情報区分名称	
JP06170 情報区分名称	
JP06110 送信者コード 当該ファイルを送信する事業者の名称 ▲ X(50) JP06111 送信者名称 当該ファイルを送信する事業者の名称 ▲ X(50) JP06358 提出先事業者コード 当該ファイルを需給調整市場から転送する一般送配電事業者を示すコード ○ ● X(5) JP06359 提出先事業者 名称当該ファイルを需給調整市場から転送する一般送配電事業者の名称 ▲ X(50) JP06700 アグリゲーションコーディネータ用系統コード ○ ○ X(5) JP06701 アグリゲーションコーディネータ名称 アグリゲーションコーディネータ名称 ▲ X(50) JP06701 対象期間開始年月日 計画が対象とする期間の開始年月日 YYYYMMDD ● Y(8) JP06702 対象期間開始年月日 対象プロック(10時~3時23時~8時36時~8時49時~12時512時~15時615時~18時718時~21時度21時~24時) ● X(1) JP06703 パターン番号 各リスト・パターンのパターン番号を示すコード(01~20) ● X(2) JP06613 帳票作成支援ソール ▲ X(50)	
JP06111 送信者名称	
JP06358 提出先事業者コード 当該ファイルを需給調整市場から転送する一般送配電事業者を示すコード ○ X(5) JP06359 提出先事業者 名称当該ファイルを需給調整市場から転送する一般送配電事業者の名称 A X(50) JP06700 アグリゲーションコーディネータ用系統コード ○ X(5) JP06701 アグリゲーションコーディネータ名称 アグリゲーションコーディネータ名称 A X(50) JP06701 対象期間開始年月日 計画が対象とする期間の開始年月日 YYYYMMDD Y(8) JP06702 対象プロック 対象プロック(1.0時~3時2.3時~6時3.6時~9時4.9時~12時.5.12時~15時.6:15時~18 時.7.18時~21時.821時~24時) 日本ア・ファイ・ファイ・ファイ・ファイ・ファイ・ファイ・ファイ・ファイ・ファイ・ファイ	
JP06358 提出先事業者コード 当該ファイルを需給調整市場から転送する一般送配電事業者を示すコード ○ X(5) JP06359 提出先事業者 名称当該ファイルを需給調整市場から転送する一般送配電事業者の名称 A X(50) JP06700 アグリゲーションコーディネータ用系統コード ○ X(5) JP06701 アグリゲーションコーディネータ名称 アグリゲーションコーディネータ名称 アグリゲーションコーディネータ名称 A X(50) JP06701 対象規間開始年月日 計画が対象とする規間の開始年月日	
JP06359 提出先事業者	
JP06359 提出先事業者	
JP06700 アグリゲーションコーディネータ用系統コード アグリゲーションコーディネータ用系統コード O X(5) JP06701 アグリゲーションコーディネータ名称 アグリゲーションコーディネータ名称 X(50) JP06701 対象期間開始年月日 計画が対象とする期間の開始年月日	
JP06700 アグリゲーションコーディネータ用系統コード アグリゲーションコーディネータ用系統コード O X(5) JP06701 アグリゲーションコーディネータ名称 アグリゲーションコーディネータ名称 X(50) JP06701 対象期間開始年月日 計画が対象とする期間の開始年月日	
JP06701 アグリゲーションコーディネータ名称 アグリゲーションコーディネータ名称 X(50)	
JP06701 アグリゲーションコーディネータ名称 ▲ X(50) JP06171 対象期間開始年月日 計画が対象とする期間の開始年月日 YYYYMMDD ● Y(8) JP06702 対象ブロック(1.0時~3時,2.3時~6時,3.6時~9時,4.9時~12時,5.12時~15時,6.15時~18時,7.18時~21時,5.18時~21時,5.21時~24時) ● X(1) JP06703 パターン番号 各リスト・パターンのパターン番号を示すコード(01~20) ● X(2) JP06613 帳票作成支援ツール ● X(50)	
JP06171 対象期間開始年月日 計画が対象とする期間の開始年月日 YYYYMMDD Y(8) JP06702 対象ブロック 対象ブロック(10時~3時,23時~6時,36時~9時,49時~12時,5:12時~15時,6:15時~18時,7:18時~21時,8:21時~24時) X(1) JP06703 パターン番号 各リスト・パターンのパターン番号を示すコード(01~20) X(2) JP0613 帳票作成支援ツール ・ X(50)	
JP06171 対象期間開始年月日 計画が対象とする期間の開始年月日 YYYYMMDD Y(8) JP06702 対象プロック 対象プロック(1.0時~3時,2.3時~6時,3.6時~9時,4.9時~1.2時,5.12時~1.5時,6.15時~1.8時,7.18時~2.1時,8.21時~2.4時) X(1) JP06703 パターン番号 各リスト・パターンのパターン番号を示すコード(01~20) X(2) JP06613 帳票作成支援ツール ・ジョン(帳票作成支援ツールから自動生成) ▲ X(50)	
JP06171 対象期間開始年月日 ● Y(8) JP06702 対象ブロック(1.0時~3時2.3時~6時,3.6時~9時,4.9時~12時,5.12時~15時,6.15時~18時,7.18時~21時,8.21時~24時) ● X(1) JP06703 パターン番号 番リスト・パターンのパターン番号を示すコード(01~20) ● X(2) JP06613 帳票作成支援ツール ● 以(50)	
JP06702 対象プロック 時,7:18時~21時,821時~24時) X(1) JP06703 パターン番号 各リスト・パターンのパターン番号を示すコード(01~20) X(2) JP06613 帳票作成支援ソール 本 X(50)	
JP06702 対象プロック 時,7:18時~21時,821時~24時) X(1) JP06703 パターン番号 各リスト・パターンのパターン番号を示すコード(01~20) X(2) JP06613 帳票作成支援ソール 本 X(50)	
JP06703 パターン番号 各リスト・パターンのパターン番号を示すコード(01~20) JP0613 帳票作成支援ツール ・ 以2 大(50)	
JP06703 パターン番号 ■ X(2) JP06613 帳票作成支援ツールバージョン(帳票作成支援ツールから自動生成) ▲ X(50)	
JP06613 帳票作成支援ソール ▲ X(50)	
JP06613 帳票作成支援ツール ▲ X(50) ■ ■ A X(50) ■ A X	
M10	999
JP06316 事業者コード 需要リソースに電気を供給している小売電気事業者を示すコード ○ M X(5)	
JP06316 事業者コード 需要リソースに電気を供給している小売電気事業者を示すコート ○ ● X(5)	
JP06317 小売電気事業者名称 需要リソースに電気を供給している小売電気事業者の名称 ▲ X(50)	
0.0001 1.00044-4.0.01h	
MIT	6
JP06219 時刻□──ド 30分刻みの時間帯を表すコード(01~48) ○ ● X(2)	
JP06705 基準値(小売電気事業者計)	
M11	
M10	

- (注1) ○:標準として定める共通コードを示す。
- (注2) ●:必須項目(空欄不可、メッセージを識別するためのキー項目)
 - ○:必須項目(空欄不可)
 - ▲:任意項目(項目使用、空欄許容)

需給調整市場基準値計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準規格(新)

備考

3. 11 直前計測型基準値内訳実績メッセージのデータ要素

直前計測型基準値内訳実績メッセージのデータ要素を表3-12に示す。

表3-12 直前計測型基準値内訳実績メッセージのデータ要素

タグ名	データ要素名	説明	共通コード	使用 区分	属性	á	繰り返し
ダク石	ナーメ安系石	неота	(注1)	(注2)	禺住	番号	最大回数
JP00002	情報区分コード	メッセージの種類を示すコード ・0331:直前計測型基準値内配実績	0	•	X(4)		
JP06170	情報区分名称	メッセージの種類の名称 ・直前計測型基準値内訳実績		A	X(50)		
JP06110	送信者コード	当該ファイルを送信する事業者を示すコード	0	•	X(5)		
JP06111	送信者名称	当該ファイルを送信する事業者の名称		•	X(50)		
JP06358	提出先事業者コード	当該ファイルを需給調整市場から転送する一般送配電事業者を示すコード	0	•	X(5)		
JP06359	提出先事業者	名称当該ファイルを需給調整市場から転送する一般送配電事業者の名称		A	X(50)		
JP06700	アグリゲーションコーディネータ用系統コード	アグリゲーションコーディネータ用系統コード	0	0	X(5)		
JP06701	アグリゲーションコーディネータ名称	アグリゲーションコーディネータ名称		A	X(50)		
JP06171	対象期間開始年月日	計画が対象とする期間の開始年月日 YYYYMMDD		•	Y(8)		
JP06613	帳票作成支援ツール	帳票作成支援ソールバージョン(帳票作成支援ソールから自動生成)		A	X(50)		
						M10	
JP06219	時刻コード30分	30分刻みの時間帯を表すコード(01~48)	0	•	X(2)		
JP06703	パターン番号	各リスト・パターンのパターン番号を示すコード(001~500)		•	X(3)		
						M11	0-10
JP06316	事業者コード	需要リソースに電気を供給している小売電気事業者を示すコード	0	•	X(5)		
JP06746	高圧受電点基準値	小売電気事業者毎の高圧受電点基準値の合計(kWh)		•	N(9)		
						M11	
						M12	0-10
JP06316	事業者コード	需要リソースに電気を供給している小売電気事業者を示すコード	0	•	X(5)		
JP06300	BG⊐—ド	発電リソースから電気を受電している発電事業者を示すコード ※BGコード無しの場合は空欄	0	A	X(5)		
JP06747	低圧受電点基準値	小売電気事業者毎の低圧受電点基準値の合計(Wh)		•	N(9)		
						M12	
						M13	0-10
JP06748	機器点特定番号(高圧)	機器点を一意に特定する番号	0	•	X(22)		
JP06749	高圧機器点基準値	高圧機器点の送端換算した基準値の合計(kWh)		•	N(9)		
						M13	
						M14	0-10
JP06316	事業者コード	需要リソースに電気を供給している小売電気事業者を示すコード	0	•	X(5)		
JP06300	BG⊐−⊦°	発電リソースから電気を受電している発電事業者を示すコード ※BGコード無しの場合は空欄	,0	A	X(5)		

需給調整市場週間市場商品基準値計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準規格(旧)		需給調整市場基準値計画	画等および基準値内訳実績受領業務ビジネス	スプロトコル標準	規格	(新)	備
	JP06750	低圧機器点基準値	低圧機器点の送端換算した基準値の合計(kWh)	•	N(9)		
						M14	
						M10	
	(注1)	○:標準として定める共i	通コードを示す。				
	(注2)		、メッセージを識別するためのキー項目)				
		〇:必須項目(空欄不可)					
		▲:任意項目(項目使用、	、空欄許容)				

需給調整市場週間市場商品基準値計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準規格(旧)

3.12 発電計画電力計画メッセージのデータ要素

発電計画電力計画メッセージのデータ要素を表3-13に示す。

表3-13 発電計画電力計画メッセージのデータ要素

			共通	使用		紿	繰り返し
タグ名 	データ要素名	説明	コード (注1)	区分 (注2)	属性	番号	最大回数
JP00002	情報区分コード	メッセージの種類を示すコード - 0431: 発電計画電力計画	0	•	X(4)		
JP06170	情報区分名称	メッセージの種類の名称 ・発電計画電力計画		A	X(50)		
JP06110	送信者コード	当該ファイルを送信する事業者を示すコード	0	•	X(5)		
JP06111	送信者名称	当該ファイルを送信する事業者の名称		•	X(50)		
JP06358	提出先事業者コード	当該ファイルを需給調整市場から転送する一般送配電事業者を示すコード	0	•	X(5)		
JP06359	提出先事業者	名称当該ファイルを需給調整市場から転送する一般送配電事業者の名称		•	X(50)		
JP06186	単独発電機/アグリゲーションコーディネータ 用系統コード	系統コード	0	0	X(5)		
JP06310	単独発電機/アグリゲーションコーディネータ 名称	発電機・アグリゲーションコーディネータ名称		•	X(50)		
JP06171	対象期間開始年月日	計画が対象とする期間の開始年月日 YYYYMMDD		•	Y(8)		
JP06702	対象ブロック	対象プロック(1.0時〜3時,2.3時〜6時,3.6時〜9時,4.9時〜12時,5.12時〜15時,6.15時〜18時,7.18時〜21時,8.21時〜24時)		•	X(1)		
JP06703	パターン番号	各リスト・パターンのパターン番号を示すコード(01~20)		A	X(2)		
JP06613	帳票作成支援ツール	帳票作成支援ソールバージョン(帳票作成支援ソールから自動生成)		•	X(50)		
						M10	6
JP06219	時刻コード	30分刻みの時間帯を表すコード(01~48)	0	•	X(2)		
JP06717	発電計画値(30分)	アグリゲーションコーディネータ合計発電計画値(30分)		•	N(9)		
						M10	
						M11	999
JP06300	BG⊐—ド	発電リソースから電気を受電している発電事業者を示すコード	0	•	X(5)		
JP06301	発電事業者名	発電リソースから電気を受電している発電事業者の名称		•	X(50)		
						M12	6
JP06219	時刻コード	30分刻みの時間帯を表すコード(01~48)	0	•	X(2)		
JP06231	発電計画合計(kWh)	BGコードごとの発電機の30分毎発電計画		•	N(9)		
						M12	
						M11	
						M13	6
JP06219	時刻コード	30分刻みの時間帯を表すコード(01~48)	0	•	X(2)		
JP06716	提出日時(受付日時)	需給調整市場システムに計画を提出した日時(YYYYMMDDHHMMSS))		A	X(14)		
						M14	30
JP06713	タイムスロット	30分内の1分刻みを示すコード(01~30)	0	•	X(2)		
JP06715	1分発電計画電力	1分每発電計画電力(kW)		•	N(9)		
						M15	0-60
JP06718	タイムビート	1分以内の属地エリアの一般送配電事業者ごとのデータ取得周期刻み(秒)を示すコード(01~60)	0	•	X(2)		

需給調整市場基準値計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準規格(新)

3.12 発電計画電力計画メッセージのデータ要素

発電計画電力計画メッセージのデータ要素を表3-13に示す。

表3-13 発電計画電力計画メッセージのデータ要素

		表3-13 発電計画電力計画メッセージのデータ要素	共通	使用		<u> </u>	燥り返し
タグ名	データ要素名	説明	コード (注1)	区分 (注2)	属性	番号	最大回数
JP00002	情報区分コード	メッセージの種類を示すコード ・0431:発電計画電力計画	0	•	X(4)		
JP06170	情報区分名称	メッセージの種類の名称 ・発電計画電力計画		•	X(50)		
JP06110	送信者コード	当該ファイルを送信する事業者を示すコード	0	•	X(5)		
JP06111	送信者名称	当該ファイルを送信する事業者の名称		A	X(50)		
JP06358	提出先事業者コード	当該ファイルを需給調整市場から転送する一般送配電事業者を示すコード	0	•	X(5)		
JP06359	提出先事業者	名称当該ファイルを需給調整市場から転送する一般送配電事業者の名称		A	X(50)		
JP06186	単独発電機/アグリゲーションコーディネータ 用系統コード	系統コード	0	0	X(5)		
JP06310	単独発電機/アグリゲーションコーディネータ 名称	発電機・アグリゲーションコーディネータ名称		A	X(50)		
JP06171	対象期間開始年月日	計画が対象とする期間の開始年月日 YYYYMMDD		•	Y(8)		
JP06613	帳票作成支援ツール	帳票作成支援ソールバージョン(帳票作成支援ソールから自動生成)		•	X(50)		
						M10	48
JP06219	時刻コード	30分刻みの時間帯を表すコード(01~48)	0	•	X(2)		
JP06717	発電計画値(30分)	アグリゲーションコーディネータ合計発電計画値(30分)		A	N(9)		
JP06724	基準値採用パターン番号	当該時刻ロード時間帯で採用する発電計画電力計画のパターン番号(001~500)		A	X(3)		
						M11	1-99999
JP06300	BG⊐—ド	発電リソースから電気を受電している発電事業者を示すコード	0	•	X(5)		
JP06301	発電事業者名	発電リソースから電気を受電している発電事業者の名称		A	X(50)		
JP06316	事業者コード	需要リソースに電気を供給している小売電気事業者を示すコード ※ 低圧群で参入する場合は登録必要	0	A	X(5)		
JP06317	小売電気事業者名	需要リソースに電気を供給している小売電気事業者の名称 ※ 低圧群で参入する場合は登録必要	0	A	X(50)		
JP06231	発電計画合計	BGコードごとの発電機の30分毎発電計画(kWh)		•	N(9)		
JP06774	発電上限合計	BGコードごとの発電機の30分毎発電計画(kWh)		•	N(9)		
						M11	
						M10	

●: 必須項目(空欄不可、メッセージを識別するためのキー項目) ○: 必須項目(空欄不可) ▲: 任意項目(項目使用、空欄許容) 需給調整システム受付時、需給調整市場システムが受付した時間に上書きする [4) JP06717発電計画値とJP06231電力量の合計値とJP06715 1分発電計画電力の30分平均のkm換算値が一致すること。またJP06715 1分発電計画電力とJP06722属地周期発電計画電力、JP06723 1秒発電計画電力の1分平均kw換算値が一致すること。 ●: 必須項目(空欄不可、メッセージを識別するためのキー項目)	6722	属地周期発電計画電力	属地エリアの一般送配電事業者のデータ取得周期毎発電計画電力(kW)		● N(9)							M12	0–48
株式が入口か						M15	JP06219	時刻コード	30分刻みの時間帯を表すコード(01~48)	0	• X(2)		
19						M16							30
22	719	セカンドスロット	1分以内の1秒刻みを示すコード(01~60)	0	• X(2)			タイムスロット	30分内の1分刻みを示すコード(01~30)	0	• X(2)		
11													
加は 加は 加は 加は 加は 加は 加は 加加 加		1,550.01121.055						19951011121015					0-60
11) : 標準として定める共通コードを示す。 2							JP06718	タイムビート		0	• X(2)		
●: 必須項目 (空欄不可、メッセージを識別するためのキー項目) ○: 必須項目 (空欄不可) ▲: 任意項目 (項目使用、空欄許名) 結3) **結論整システム受付時、常給調整市場システムが受付した時間に上書きする は4) JP06717発電計画電力とJP06722属地周別発電計画電力の30分平均の水配換算値が一致すること。またJP06715 1分発電計画電力とJP06722属地周別発電計画電力の30分平均の水配換算値が一致すること。 JP06231電力量は広域機関に提出された発電販売計画における同一系統コードに対するJP06231電力量の合計と一致すること。 (注1) ○: 標準として定める共通コードを示す。 (注2) ●: 必須項目 (空欄不可) ▲: 任意項目 (項目使用、空欄許等) ※給調整システム受付時、需給調整市場システムが受付した時間に上書きする (注4) JP06717発電計画電力。JP06723 発電計画電力の30分平均の水配換算値が一致すること。 (注2) ●: 必須項目 (空欄不可) ▲: 任意項目 (項目使用、空欄許等) (注3) ※給調整システム受付時、需給調整市場システムが受付した時間に上書きする (注4) JP06717発電計画電力。JP06723 発電計画電力。JP06731 1分発電計画電力の30分平均の水配換算値が一致する JP06717を電計画電力。JP06722属地周別発電計画電力の10分平均水配換算値が一致する JP06715 1分発電計画電力。JP06723 2配用画射発電計画電力の10分平均水配換算値が一致する JP06715 1分発電計画電力。JP06723 2配用刷射発電計画電力の10分平均水配換算値が一致する JP06715 1分発電計画電力。JP06723 2配用画が発電計画電力の10分平均水配換算値が一致する JP06715 1分発電計画電力。JP06723 2配用画が発電計画で力の10分平均水配換算値が一致する JP06715 1分発電計画電力。JP06723 2配用画が発電計画で表がコードに対するJP06231電力動の合計						M13	JP06722	属地周期発電計画電力	属地エリアの一般送配電事業者のデータ取得周期毎発電計画電力(kW)		● N(9)		
○: 必須項目 (空欄不可) ▲: 任意項目 (項目使用、空欄下容) 書給調整ンステム受付時、需給調整市場システムが受付した時間に上書きする 3) 即6717発電計画値と1P06231電力量の合計値と1P06723 1秒発電計画電力の30分平均のk眺線算値が一致すること。また1P06715 1分発電計画電力と1P06722属地周期発電計画電力、1P06723 1秒発電計画電力の1分平均取換算値が一致すること。 (注1) ②: 標準として定める共通コードを示す。 (注2) ●: 必須項目 (空欄下帘) ▲: 任意項目 (項目使用、空欄下容) ▲: 任意項目 (項目使用、空欄下容) (注3) 需給調整システム受付時、需給調整市場システムが受付した時間に上書きする (注4) 」P06731電力量は広域機関に提出された発電販売計画における同一系統コードに対するJP06231電力量の合計と一致すること。 (注2) ●: 必須項目 (空欄下の) ▲: 任意項目 (項目使用、空欄下容) 【注3) 需給調整システム受付時、需給調整市場システムが受付した時間に上書きする (注4) 」P06717系電計画値(30分)と IP06231発電計画電力の30分平均のk眺換算値が一致する IP06715 1分発電計画電力の10分平均取換算値が一致する IP06715 1分発電計画電力の10分平均取換算値が一致する IP06715 1分発電計画電力の10分平均取換算値が一致する IP06715 1分発電計画電力の30分平均のk眺換算値が一致する IP06715 1分発電計画電力の30分平均取換算値が一致する IP06715 1分発電計画電力の10分平均取換算値が一致する IP06715 1分発電計画電力の30分平均のk眺換算値が一致する IP06715 1分発電計画電力の30分平均のk眺換算値が一致する IP06715 1分発電計画電力の30分平均のk眺換算値が一致する IP06715 1分発電計画電力の30分平均のk眺換算値が一致する IP06715 1分発電計画電力の30分平均のk眺換算値が一致する IP06715 1分発電計画電力の30分平均のk眺換算値が一致する IP06715 1分発電計画で IP06715 1分発電計画電力の30分平均のk眺換算値が IP06715 1分発電計画で IP06715 1分表電 IP06715 1分表面 IP06715 1分面 IP06715 1分	Ξ1)	○:標準として定める共通=	コードを示す。									M14	
▲: 任意項目(項目使用、空欄許容) 3) 需給調整システム受付時、需給調整市場システムが受付した時間に上書きする 4) JP06717発電計画値とJP06231電力量の合計値とJP06715 1分発電計画電力の30分平均のk附換算値が一致すること。 5) JP06231電力量は広域機関に提出された発電販売計画における同一系統コードに対するJP06231電力量の合計と一致すること。 (注1) ○: 標準として定める共通コードを示す。 (注2) ●: 必須項目(空欄不可、メッセージを識別するためのキー項目) ○: 必須項目(空間で用、空欄許容) (注3) 事給調整システム受付時、需給調整市場システムが受付した時間に上書きする 「P06717発電計画値(30分)とJP06723 「軽発電計画電力」の30分平均の水⊪換算値が一致する JP06715 1分発電計画電力とJP06723 「軽発電計画電力の1分平均水・映換算値が一致する JP06715 1分発電計画電力とJP06723 「軽発電計画電力」」、JP06723 「軽発電計画電力」、JP06723 「軽発電計画電力」の30分平均の水⊪換算値が一致する JP06731 発電計画電力とJP06723 1を発電計画電力の30分平均の水⊪換算値が一致する JP06731 分発電計画電力とJP06723 1を発電計画電力の30分平均の水⊪換算値が一致する JP06731 分発電計画で記力、JP06723 1を発電計画で記力の30分平均の水⊪換算値が一致する JP06715 1分発電計画で記力。JP06723 1を発電計画で記力の30分平均の水⊪換算値が一致する JP06731 2を設置が表面を記述された発電販売計画における同一系統コードに対する JP06731 を記述された発電販売計画における同一系統コードに対する JP06731 2を記述された発電販売計画における同一系統コードに対する JP06231 電力量の合計を可能では、MPCPT 2を記述された発電販売品では、MPCPT 2を認述されていますな JP06715 1分発電計画における同一系統コードに対する JP06731 2を認述されていますな JP0673 2を認述されてい	2)	●:必須項目(空欄不可、>	くッセージを識別するためのキー項目)									M15	0-60
3) 需給調整システム受付時、需給調整市場システムが受付した時間に上書きする 4) JP06717発電計画値とJP06231電力量の合計値とJP06715 1分発電計画電力の30分平均のkmi換算値が一致すること。またJP06715 1分発電計画電力とJP06722属地周期発電計画電力の30分平均のkmi換算値が一致すること。 5) JP06231電力量は広城機関に提出された発電販売計画における同一系統コードに対するJP06231電力量の合計と一致すること。 (注 2) ●: 必須項目(空欄不可、メッセージを識別するためのキー項目) ○: 必須項目(空欄不可) ▲: 任意項目(項目使用、空欄宇答) (注 3) 需給調整システム受付時、需給調整市場システムが受付した時間に上書きする (注 4) JP06717発電計画値(30分)とJP06231発電計画電力の30分平均のkmi換算値が一致する 「注 3) アアルので12 「対象電計画電力・JP06715 1分発電計画電力の30分平均のkmi換算値が一致する JP06715 1分発電計画電力・JP06723 1秒発電計画電力の30分平均のkmi換算値が一致する JP06715 1分発電計画電力・JP06723 1秒発電計画電力の1分平均kmi換算値が一致する JP06715 1分発電計画電力・JP06723 1秒発電計画電力の1分平均kmi換算値が一致する JP06715 1分発電計画電力・JP06723 1秒発電計画電力・JP06231電力量の合計		〇:必須項目(空欄不可)				JP06719	セカンドスロット	1分以内の1秒刻みを示すコード(01~60)	0	• X(2)		
 (44) JP06717発電計画値とJP06715 1分発電計画電力の30分平均のkm換算値が一致すること。またJP06715 1分発電計画電力とJP06722属地周期発電計画電力、JP06723 1秒発電計画電力の1分平均km換算値が一致すること。 (55) JP06231電力量は広域機関に提出された発電販売計画における同一系統コードに対するJP06231電力量の合計と一致すること。 (注1) ○:標準として定める共通コードを示す。 (注2) ●:必須項目(空欄不可) ▲:任意項目(項目使用、空欄下容) (注3) 需給調整・ステム受付した時間に上書きする (注4) JP06717発電計画値(30分)とJP067231発電計画を計とJP06723 1秒発電計画電力の30分平均のkML換算値が一致する (注4) JP06717発電計画値(30分)とJP06231発電計画で計とJP06715 1分発電計画電力の30分平均のkML換算値が一致する (注5) JP06231発電計画合計は広坡機関に提出された発電販売計画における同一系統コードに対するJP06231電力量の合計 		▲:任意項目(項目使用	、空欄許容)				JP06723	1秒発電計画電力	1秒毎発電計画電力(kW)		• N(9)		
1分発電計画電力とJP06722属地周期発電計画電力, JP06723 1秒発電計画電力の1分平均kr検算値が一致すること。 JP06231電力量は広域機関に提出された発電販売計画における同一系統コードに対するJP06231電力量の合計と一致すること。 (注 1) (注 1) (注 2) ●: 必須項目 (空欄不可、メッセージを識別するためのキー項目) (注 2) ・ 必須項目 (空欄不可) ・ 必須項目 (空欄不可) ・ ・ 必須項目 (空欄不可) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	E3)	需給調整システム受付時、需	結調整市場システムが受付した時間に上書きする									M15	
(注1) 「P06231電力量は広域機関に提出された発電販売計画における同一系統コードに対するJP06231電力量の合計と一致すること。 (注2) ●: 必須項目(空欄不可、メッセージを識別するためのキー項目)	È4)	JP06717発電計画値とJP06231	電力量の合計値とJP06715 1分発電計画電力の30分平均	匀のkWh換算	算値が一致す	けること。 またJP	6715					M13	
(注1) 「P06231電力量は広域機関に提出された発電販売計画における同一系統コードに対するJP06231電力量の合計と一致すること。 (注2) ●: 必須項目(空欄不可、メッセージを識別するためのキー項目)		1分発電計画電力とJP06722属	地周期発電計画電力,JP06723 1秒発電計画電力の1分	平均kW換	算値が一致で	すること。						M12	
							(注3)	▲:任意項目(項	[目使用、空欄許容]				
							(注4)	▲: 任意項目(項 需給調整システム受付 JP06717発電計画値(3 JP06715 1分発電計画で JP06231発電計画合計	国目使用、空欄許容) 付時、需給調整市場システムが受付した時間に上書きする 30分)とJP06231発電計画合計とJP06715 1分発電計画電力の 電力とJP06722属地周期発電計画電力,JP06723 1秒発電計画	電力の1分平	匀kW換算(直が一致す	ること。

需給調整市場週間市場商品基準値計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準規格(旧)		需給調整市場基準値計画	回等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロ	トコル標	準規格	的(<mark>新</mark>)			備考
	3. 13	機器点計画メッセージのデー	ータ要素						機器点計
	機器点	試計画関係メッセージのデータ要	素を表3-14に示す。						画メッセ
									ージのデ
		1	表3-14 機器点計画関係メッセージのデータ要素						ータ要素 は、
				共通コード	使用 区分			繰り返し	新規追加
	タグ名	データ要素名	説明	(注1)	(注2)	属性	番号	最大回数	
	JP00002	情報区分コード	メッセージの種類を示すコード ・0532:機器点計画	0	•	X(4)			
	JP06170	情報区分名称	メッセージの種類の名称機器点計画		A	X(50)			ĺ
	JP06110	送信者コード	当該ファイルを送信する事業者を示すコード	0	•	X(5)			
	JP06111	送信者名称	当該ファイルを送信する事業者の名称		•	X(50)			
	JP06358	提出先事業者コード	当該ファイルを需給調整市場から転送する一般送配電事業者を示すコード	0	•	X(5)			
	JP06359	提出先事業者	名称当該ファイルを需給調整市場から転送する一般送配電事業者の名称		A	X(50)	\perp		l
	JP06700	アグリゲーションコーディネータ用系統コード	アグリゲーションコーディネータ用系統コード	0	0	X(5)			İ
	JP06701	アグリゲーションコーディネータ名称	アグリゲーションコーディネータ名称		A	X(50)			
	JP06171	対象期間開始年月日	計画が対象とする期間の開始年月日 YYYYMMDD		•	Y(8)			
	JP06751	基準値設定方法	基準値設定方法を示すコード ※ 1:事前予測型。2:直前計測型。3:逐次計測型		•	X(1)			
							M10	1-:	
	JP06703	パターン番号	各リスト・パターンのパターン番号を示すコード(001~500)		•	X(3)			
							M11		
	JP06219	時刻ロード	30分刻みの時間帯を示すコード (01~48, Y7, Y8)	0	•	X(2)			
			※高圧以上機器点の場合に使用				M12	0-100	1
	JP06400	供給地点特定番号	託送供給に関わる電気を供給する地点を識別する番号		•	X(22)			
	JP06752	受電点需要計画	高圧以上機器リソースで参入する受電点の需要計画(Wh) ※基準値採用パターンがある場合必須		•	N(9)			
							M12		
			※高圧以上機器点の場合に使用				M13	0-100	
	JP06753	機器点特定番号	機器点参入リソースを識別するための番号	0	•	X(22)			
	JP06754	高圧機器点基準値(アセス用)	高圧以上機器点の需要計画を受電点に換算した需要計画(Wh)		A	N(9)	1 1		
	JP06755	高圧機器点基準値(調整電力量用・機器端)	高圧以上機器点の需要計画(kWh)		A	N(9)			
	JP06756	高圧機器点発電基準値(アセス用)	高圧以上機器点の発電計画を受電点に換算した発電計画(Wh)		A	N(9)			1
	JP06757	高圧機器点発電基準値(調整電力量用・機器端)	高圧以上機器点の発電計画(kWh)		A	N(9)			1
	JP06758	高圧機器点発電上限	高圧以上機器点の発電上限を受電点に換算した発電上限(Wh)		•	N(9)			1
	JP06769	高圧機器点基準値需要抑制情制のアセス用)	高圧以上機器ネガリソースで参入する機器点毎の受電点に換算した需要抑制指十画(kWh)		A	N(9)			1
	JP06770	高圧機器点基準値需要抑制計画(調整電力量 用・機器端)	高圧以上機器ネガリソースで参入する機器点毎の需要抑制情十直(Wh)		A	N(9)			
	JP06771	高圧機器点発電基準値需要抑制計画(アセス用)	高圧以上機器ポジリソースで参入する機器点毎の受電点に換算した需要抑制計画(kWh)		A	N(9)			
	JP06772	高圧機器点発電基準値需要抑制計画(調整電力 量用・機器端)	高圧以上機器ポジリソースで参入する機器点毎の需要抑制情性回(kWh)		A	N(9)			
							M13		
		•		•	•	•			
									1
									1 '

合調整市場週間市場商品基準値計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準規格(旧)		需給調整市場基準値計	画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロ	トコル村	票準規構	各(<mark>新</mark>)	
			※低圧機器点の場合に使用				M14	0-100000
	JP06316	事業者コード	需要リソースに電気を供給している小売電気事業者を識別するコード	0	•	X(5)		
	JP06300	発電BGコード	発電リソースが所属する発電BOを示すコード ※BGコード無しの場合は空欄	0	A	X(5)		
	JP06759	低圧機器点基準値	低圧機器点の需要計画を受電点に換算した需要計画(Wh)		A	N(9)		
	JP06760	低圧機器点発電基準値	低圧機器点の発電計画を受電点に換算した発電計画(Wh)		A	N(9)		
	JP06761	低圧機器点発電上限	低圧機器点の発電上限を受電点に換算した発電上限(Wh)		A	N(9)		
	JP06775	低圧機器点基準値需要抑制計画	低圧機器ネガリソースで参入する機器点の受電点に換算した需要抑制計画(kWh)		A	N(9)		
	JP06776	低圧機器点発電基準値需要抑制計画	低圧機器ポジリソースで参入する機器点の需要抑制計画(kWh)		A	N(9)		
							M14	
							M11	
							M10	
							M15	
	JP06219	時刻ロード	30分刻みの時間帯を示すコード (01~48)	0	•	X(2)		
	JP06724	基準値採用パターン番号	当該時刻コード時間帯で採用する基準値計画のパターン番号(001~500)		A	X(3)		
							M15	
						1	M16	0
	JP06219	時刻コード	30分刻みの時間帯を示すコード (01~48)	0	•	X(2)		
							M17	0
	JP06713	タイムスロット	30分内の1分刻みを示すコード(01~30)	0	•	X(2)		
	JP06762	機器点1分基準値電力(事前予測型)	1分毎合計基準値電力(kW)		•	N(9)		
							M18	0
	JP06718	タイムビート	1分以内の属地エリアの一般送配電事業者ごとのデータ取得周期刻みを示すコード(01~60)	0	•	X(2)		
	JP06763	機器点属地周期基準値電力(事前予測型)	属地エリアの一般送配電事業者のデータ取得周期毎合計基準値電力(W)		•	N(9)		
							M18	
							M19	0
	JP06719	セカンドスロット	1分以内の1秒刻みを示すコード(01~60)	0	•	X(2)		
	JP06764	機器点1秒基準値電力(事前予測型)	1秒每合計基準值電力(kW)		•	N(9)		
						1	M19	
						1	M17	
							M20	0
	JP06713	タイムスロット	30分内の1分刻みを示すコード(01~30)	0	•	X(2)		
	JP06765	機器点1分発電計画電力	1分每発電計画電力(kW)		•	N(9)		
						1	M21	0
	JP06718	タイムビート	1分以内の属地エリアの一般送配電事業者ごとのデータ取得周期刻みを示すコード(01~60)	0	•	X(2)		
	JP06766	機器点属地周期発電計画電力	属地エリアの一般送配電事業者のデータ取得周期毎発電計画電力(W)		•	N(9)		
							M21	
							M22	0
	JP06719	セカンドスロット	1分以内の1秒刻みを示すコード(01~60)	0	•	X(2)		

新旧対照表 需給調整市場基準値計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準規格(新) 需給調整市場週間市場商品基準値計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準規格(旧) 機器点1秒発電計画電力 1秒每発電計画電力(kW) N(9) M22 (注1) ○:標準として定める共通コードを示す。 (注2) ●: 必須項目(空欄不可、メッセージを識別するためのキー項目) ○:必須項目(空欄不可) ▲:任意項目(項目使用、空欄許容) 3. 13 XML データの検証 3. 14 XML データの検証 本標準では、XML形式を採用するため、W3Cで策定されているXML schemaを提供する。XML schemaはXMLデータの構造を定義するスキー 本標準では、XML形式を採用するため、W3Cで策定されているXML Schemaを提供する。XML SchemaはXMLデータの構造を定義するスキー マ言語である。これを使用することで、XMLデータに出現する要素や属性、その順序などを検証することが可能となる。検証例を表3-14に示 マ言語である。これを使用することで、XMLデータに出現する要素や属性、その順序などを検証することが可能となる。検証例を表3-15に示 す。 す。

表3-14 XML Schemaでの検証例

検	証項目	検証例
	タグ名称	〈12345〉が正しいところ、〈54321〉となっていた。
	必須要素	<12345>は必須項目だが、XMLデータ内になかった。
データ構造	不要要素	定義されていないタグが含まれていた。
	繰返し	〈12345〉は繰返し不可として定義されているが、複数定義されていた。
	要素出現順序	<m1>→<m2>の順番が、<m2>→<m1>のようになっている。</m1></m2></m2></m1>
	許可文字	数字のみに限定されたデータ要素に、英字が混在された。
二 2224	∤⁄二米/-	6桁の数字で記述するよう定義されているが、8桁の値が定義されていた。
データ属性	桁数	※数値データのみ対象
	範囲	整数値をとるよう定義されているが、負の値が定義されていた。
共通コード	未定義コード	定義されていないロード値を使用している。

表3-15 XML Schemaでの検証例

検	証項目	検証例					
	タグ名称	<12345>が正しいところ、<54321>となっていた。					
	必須要素	<12345>は必須項目だが、XMLデータ内になかった。					
データ構造	不要要素	定義されていないタグが含まれていた。					
	繰返し	<12345>は繰返し不可として定義されているが、複数定義されていた。					
	要素出現順序	<m1>→<m2>の順番が、<m2>→<m1>のようになっている。</m1></m2></m2></m1>					
	許可文字	数字のみに限定されたデータ要素に、英字が混在された。					
	l∕\r\.	6桁の数字で記述するよう定義されているが、8桁の値が定義されていた。					
データ属性	桁数	※数値データのみ対象					
	範囲	整数値をとるよう定義されているが、負の値が定義されていた。					
共通コード	未定義コード	定義されていないコード値を使用している。					

需給調整市場週間市場商品基準値計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準規格(旧)

3. 13. 1 XML Schemaの設計規則

表 3-15に示すXML schemaの設計規則(Naming & Design Rule:以下NDR)に従い、XML schemaを作成する。

表3-15 メッセージファイル名称付与規則

規則	URL
XML 1.0	http://www.w3.org/TR/REC-xml
XML Schema Part 0: Primer	http://www.w3.org/TR/xmlschema-0/
XML schema Part1:Structures	http://www.w3.org/TR/xmlschema-1/
XML schema Part2:DataTypes	http://www.w3.org/TR/xmlschema-2/

3. 13. 2 XML Schemaの名前空間

名前空間を宣言部で指定する。

http://www.w3.org/2001/XMLSchema

3. 13. 3 XML Schemaの構造

XML Schemaの構造を図3-6に示す。

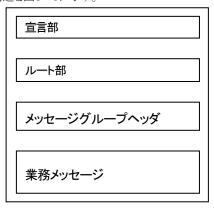


図3-6 本標準におけるXML Schemaの構造

3. 13. 4 XML Schemaのファイル名

XMLスキーマのファイル名は以下の通り。

[BPID機関コード]-[BPID副機関コード]-[情報区分コード]-[XMLスキーマバージョン]+".xsd" (例)

週間市場商品事前予測型基準値計画のXMLスキーマ

:OCTO-W9-0131-001.xsd

直前計測型基準値内訳実績のXMLスキーマ

:OCTO-W9-0331-001.xsd

発電計画電力計画のXMLスキーマ

:OCTO-W9-0431-001.xsd

需給調整市場基準値計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準規格(新)

表 3-16に示すXML Schemaの設計規則(Naming & Design Rule:以下NDR)に従い、XML Schemaを作成する。

表3-16 メッセージファイル名称付与規則

備考

規則	URL
XML 1.0	http://www.w3.org/TR/REC-xml
XML Schema Part 0: Primer	http://www.w3.org/TR/xmlschema=0/
XML Schema Part1:Structures	http://www.w3.org/TR/xmlschema-1/
XML Schema Part2:DataTypes	http://www.w3.org/TR/xmlschema-2/

3. 14. 2 XML Schemaの名前空間

3. 1 4. 1 XML Schemaの設計規則

名前空間を宣言部で指定する。

http://www.w3.org/2001/XMLSchema

3.14.3 XML Schemaの構造

XML Schemaの構造を図3-6に示す。

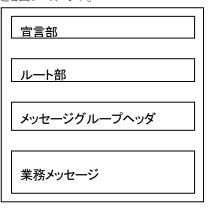


図3-6 本標準におけるXML Schemaの構造

3. 14. 4 XML Schemaのファイル名

XMLスキーマのファイル名は以下の通り。

[BPID機関コード]-[BPID副機関コード]-[情報区分コード]-[XMLスキーマバージョン]+".xsd"

基準値計画のXMLスキーマ

:OCTO-W9-0132-001.xsd

直前計測型基準値内訳実績のXMLスキーマ

:OCTO-W9-0331-001.xsd :OCTO-W9-0431-001.xsd

発電計画電力計画のXMLスキーマ

0.000 11/0.000 004

機器点計画のXMLスキーマ

:OCTO-W9-0532-001.xsd

需給調整市場週間市場商品基準値計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準規格(旧)

3. 13. 5 XML Schemaによるデータ要素の定義例

(a) 属性の定義例(表3-16)

表3-16 属性の定義例

属性	属性表記	定義例					
符号無数値データ (整数)	9(n) n:桁数	<pre><xsd:restriction base="xsd:nonNegativeInteger"> <xsd:totaldigits value="n"></xsd:totaldigits> </xsd:restriction></pre>					
符号付数値データ (整数)	N(n) n:桁数	<pre><xsd:restriction base="xsd:integer"> <xsd:totaldigits value="n"></xsd:totaldigits> </xsd:restriction></pre>					
符号付数値データ (小数)	N(n)V(m) n:整数部桁数 m:小数部桁数	<pre> <xsd:restriction base="xsd:decimal"></xsd:restriction></pre>					

(b) 共通コードの定義例(表3-17)

表3-17 共通コードの定義例

データ要素	定義例
	<xsd:restriction base="xsd:String"></xsd:restriction>
	<xsd:enumeration value="001"></xsd:enumeration>
共通コード	<xsd:enumeration value="002"></xsd:enumeration>
	<xsd:enumeration value="003"></xsd:enumeration>

(c) 繰返しの定義例(表3-18)

表3-18 繰返しの定義例

繰返し回数	定義例
0	minOccurs=0, maxOccurs=0
1	minOccurs=1、maxOccurs=1又は省略
0又は1	minOccurs=0, maxOccurs=1
$0 \sim n \ (n \ge 0)$	minOccurs=0, maxOccurs=n
$m \sim n \ (n \ge m \ge 0)$	minOccurs=m, maxOccurs=n
出現回数が無制限の場合	maxOccurs=unbounded

需給調整市場基準値計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準規格(<mark>新</mark>)

3. 14. 5 XML Schemal によるデータ要素の定義例

(a) 属性の定義例(表3-17)

表3-17 属性の定義例

備考

属性	属性表記	定義例					
符号無数値データ(整数)	9(n) n:桁数	<pre><xsd:restriction base="xsd:nonNegativeInteger"> <xsd:totaldigits value="n"></xsd:totaldigits> </xsd:restriction></pre>					
符号付数値データ (整数)	N(n) n:桁数	<pre><xsd:restriction base="xsd:integer"> <xsd:totaldigits value="n"></xsd:totaldigits> </xsd:restriction></pre>					
符号付数値データ (小数)	N(n)V(m) n:整数部桁数 m:小数部桁数	<pre> <xsd:restriction base="xsd:decimal"></xsd:restriction></pre>					

(b) 共通コードの定義例(表3-18)

表3-18 共通コードの定義例

データ要素	定義例
	<xsd:restriction base="xsd:String"></xsd:restriction>
	<xsd:enumeration value="001"></xsd:enumeration>
共通コード	<xsd:enumeration value="002"></xsd:enumeration>
	<xsd:enumeration value="003"></xsd:enumeration>

(c) 繰返しの定義例(表3-19)

表3-19 繰返しの定義例

繰返し回数	定義例				
0	minOccurs=0, maxOccurs=0				
1	minOccurs=1、maxOccurs=1又は省略				
0又は1	minOccurs=0, maxOccurs=1				
$0 \sim n \ (n \ge 0)$	minOccurs=0, maxOccurs=n				
$m \sim n \ (n \ge m \ge 0)$	minOccurs=m, maxOccurs=n				
出現回数が無制限の場合	maxOccurs=unbounded				

	計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準規格(旧)	需給調整市場基準値計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準規格(<mark>新</mark>)				
. ビジネス運用規則		4. ビジネス運用規則				
. 1 メッセージ		4. 1 メッセージ				
. 1. 1 メッセージファイルの構成単位	$\dot{f v}$	4. 1. 1 メッセージファイルの構成	草位			
メッセージファイルの構成単位を表4-1に	苏才。	メッセージファイルの構成単位を表4一:	1に示す。			
	表4-1 メッセージファイルの構成単位	表4-1 メッセージファイルの構成単位				
メッセージ名称	説明(注)	メッセージ名称	説明(注)			
週間市場商品事前予測型基準値計画	1つの週間市場商品の事前予測型基準値計画メッセージで1ファイルを構成する。	基準値計画	1つの基準値計画メッセージで1ファイルを構成する。			
直前計測型基準値内訳実績	1つの直前計測型基準値内訳実績メッセージで1ファイルを構成する。	直前計測型基準値内訳実績	1 つの直前計測型基準値内訳実績メッセージで1ファイルを構成する。			
	1つの発電計画電力計画メッセージで1ファイルを構成する。	発電計画電力計画	1つの発電計画電力計画メッセージで1ファイルを構成する。			
主)メッセージを分割して複数のファイル	を構成することは不可とする。	機器点計画	1つの機器点計画メッセージで1ファイルを構成する。			
		(注)メッセージを分割して複数のファイ				

需給調整市場週間市場商品基準値計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準規格(旧) 需給調整市場基準値計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準規格(新) 備考 4. 1. 2 メッセージファイル名称付与規則 4. 1. 2 メッセージファイル名称付与規則 メッセージファイルの名称付与規則を、図4-1、表4-2、および、図4-2、表4-3に示す。なお、実際のメッセージファイル名は各項目 メッセージファイルの名称付与規則を、図4-1、表4-2、および、図4-2、表4-3に示す。なお、実際のメッセージファイル名は各項目 間を半角アンダーバーで区切り、拡張子は". xml"とする。 間を半角アンダーバーで区切り、拡張子は".xml"とする。 事前予測型基準値計画関係ファイル,直前計測型基準値内訳実績ファイル 基準値計画関係ファイル,直前計測型基準値内訳実績ファイル,機器点計画関係ファイル アグリゲーション 電源等コード アグリゲーション BPID副機関コード 情報区分コード BPID副機関コード 情報区分コード 雷源等コード 対象約定ブロックの 対象日の コーディネータ用 対象年月日 対象年月日 コーディネータ用 開始30分コマ番号 開始30分コマ番号 系統コード 系統コード 図4-1 メッセージファイル名称構成 図4-1 メッセージファイル名称構成 表4-2 メッセージファイル名称付与規則 表4-2 メッセージファイル名称付与規則 項目 属性 内容 項目 属性 内容 需給調整市場における基準値計画受領業務を示す"W9"固定。 需給調整市場における基準値計画受領業務を示す"W9"固定。 BPID副機関コード X(2)BPID副機関コード X(2)商品区分に応じて情報区分コードを設定する。 商品区分に応じて情報区分コードを設定する。 ・週間市場商品の事前予測型基準値計画を示す"0131" •基準値計画を示す"0132" 情報区分コード X(4)情報区分コード X(4)・直前計測型基準値内訳実績を示す"0331" ・直前計測型基準値内訳実績を示す"0331" 当該メッセージが対象とする時期の開始年月日(YYYYMMDD)を設定 機器点計画を示す"0532 対象年月日 Y(8) 対象日が2022年4月3日の場合 "20220403" 当該メッセージが対象とする時期の開始年月日(YYYYMMDD)を設定 対象年月日 Y(8) 約定ブロックの開始30分コマを設定 対象日が2022年4月3日の場合 "20220403" 約定ブロックが00:00~03:00の場合"01". 対象日の開始30分コマ"01"固定 対象日の開始30分コマ番号 X(2)約定ブロックが03:00~06:00の場合"07" ファイルを送信するアグリゲーションコーディネータを示すコード 約定ブロックが06:00~09:00の場合"13", アグリゲーションコーディネータ 対象約定ブロックの開始30分コマ (アグリゲーションコーディネータ用系統コードの2桁目"Y"※) 約定ブロックが09:00~12:00の場合"19", X(5)X(2)用系統コード ※直前計測型基準値内訳実績および機器点計画のみ 番号 約定ブロックが12:00~15:00の場合"25", 約定ブロックが15:00~18:00の場合"31", 需給調整市場システムの登録した電源等データを示すコード。 電源等コード $X(1) \sim X(10)$ 約定ブロックが18:00~21:00の場合"37" 約定ブロックが21:00~24:00の場合"43" ファイルを送信するアグリゲーションコーディネータを示すコード アグリゲーションコーディネータ (アグリゲーションコーディネータ用系統コードの2桁目"Y"※) X(5)用系統コード ※直前計測型基準値内訳実績のみ 需給調整市場システムの登録した電源等データを示すコード。 電源等コード $X(1) \sim X(10)$

対象年月日 対象日が20分立で番号 表統コード 大塚日本ド 大塚日本ド 大塚日本ド 大塚日本ド 大塚日本ド 大塚日本ド 大塚日本ド 大塚日本ド 大塚日本ド 大塚日本 大塚日本	発電計画電	力計画ファイル					発電計画電	記力計画ファイル				
接任 内容 原性 内容 「項目 原性 内容 「可用 同用 同用 同用 同用 同用 同用 同用	PID副機関コード	- 日本の一 一 日本の			電源等コード	BPID副機関コード	情報区分コード	対象年月日	対象日の 開始30分コマ番号		電源等コード	
項目 属性 内容 通機関コード X(2)								図4ー2 メッセー	-ジファイル名称構成			
 副機関コード X(2) 需給調整市場における基準値計画で領業務を示す"W9"固定。 区分コード X(4) 発電計画電力計画を示す"0431"固定。 (年) Y(8) 当該メッセージが対象とする時期の開始年月日(YYYYMMDD)を設定 対象日が2022年4月3日の場合 "20220403" 対象日が2022年4月3日の場合 "20220403" 対象年月日 Y(8) 当該メッセージが対象とする時期の開始年月日(YYYYMMDD)を設定 対象年月日 Y(8) 当該メッセージが対象とする時期の開始年月日(YYYYMMDD)を設定 対象年月日 Y(8) 当該メッセージが対象とする時期の開始年月日(YYYYMMDD)を設定 対象年月日 Y(8) 対象日の場合の22年4月3日の場合 "20220403" 対象年の開始30分コマ番号 X(2) 対象目の開始30分コマ*01"固定 対象日の開始30分コマ*01"固定 対象日の開始30分コマ*01"固定 対象日の開始30分コマ*01"固定 対象日の開始30分コマ*01"固定 対象日の開始30分コマ*01"固定 対象日の開始30分コマ*01"固定 対象日の開始30分コマ*01"固定 対象日の開始30分コマ*01"固定 対象日の開始30分コマ*01"固定 がまたブロックが05:00~95:00の場合"01", 約定ブロックが05:00~95:00の場合"07", 約定ブロックが15:00~場合の場合"35", 約定ブロックが12:00~25:00の場合"37", 約定ブロックが21:00~24:00の場合"37", 約定グロックが21:00~24:00の場合"37", 約定グロックが21:0			表4-3 メッセ・	ージファイル名称付与規則					表4ー3 メッセージ	ジファイル名称付与規則		
区分コード X(4) 発電計画電力計画を示す"0431"固定。	項目	属性	Ė		内容		項目	属性			内容	
### 1	D副機関コード	X(2	需給調整市	場における基準値計画受領業	務を示す"W9"固定。		BPID副機関コード	X(2)	需給調整市場は	こおける基準値計画受領	業務を示す"W9"固定。	
### (A) 対象目が2022年4月3日の場合 "20220403" 対象年月日 Y(8) 対象日が2022年4月3日の場合 "20220403" 対象日の開始30分コマを設定 約定プロックが03:00へ06:00の場合"01", 約定プロックが03:00へ06:00の場合"07", 約定プロックが03:00へ06:00の場合"13", 約定プロックが09:00へ12:00の場合"19", 約定プロックが10:00へ12:00の場合"19", 約定プロックが112:00〜15:00の場合"25", 約定プロックが112:00〜15:00の場合"31", 約定プロックが18:00へ21:00の場合"31", 約定プロックが18:00へ21:00の場合"43" ファイルを送信する発電所側系統を示すコード。 ***********************************	8区分コード	X(4	′				情報区分コード	X(4)				
対定プロックが00:00~03:00の場合"01"、 対定プロックが03:00~06:00の場合"13"、 対定プロックが09:00~12:00の場合"13"、 対定プロックが12:00~15:00の場合"25"、 対定プロックが15:00~18:00の場合"31"、 対定プロックが15:00~21:00の場合"37"、 対定プロックが15:00~24:00の場合"37"、 対定プロックが21:00~24:00の場合"43" X(5) ファイルを送信する発電所側系統を示すコード。 X(7)~X(10) 需給調整市場システムの登録した電源等データを示すコード。	9年月日	Y(8	⁾ 対象日が20	22年4月3日の場合 "2022040	三月日(YYYYMMDD)を 3″	設定	対象年月日	Y(8)	対象日が2022年	年4月3日の場合 "202204		
約定ブロックの開始30分コマ			約定ブロック	ケが00:00~03:00の場合"01",			対象日の開始30分コマ	番号 X(2)				
X(2) 約定ブロックが09:00~12:00の場合"19",	M 11 . 1 . 3	(発電計画提出用系統コー	ード X(5)				
約定ブロックが15:00~18:00の場合"31", 約定ブロックが18:00~21:00の場合"37", 約定ブロックが21:00~24:00の場合"43" 計画提出用系統コード X(5) ファイルを送信する発電所側系統を示すコード		音30分コマ X(2	約定ブロック	ケが09:00~12:00の場合"19",			電源等コード	X(1)∼X(10)) 需給調整市場	ンステムの登録した電源等	データを示すコード。	
約定ブロックが18:00~21:00の場合"37", 約定ブロックが21:00~24:00の場合"43"計画提出用系統コードX(5)ファイルを送信する発電所側系統を示すコード	<u>1.</u>											
計画提出用系統コード X(5) ファイルを送信する発電所側系統を示すコード			約定ブロック	7が18:00~21:00の場合"37",								
	計画提出田玄紘っ	− ド Y(5			ュード							
第一中 AIDやAIII	1 100/			1								

需給調整市場週間市場商品基準値計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準規格(旧) 需給調整市場基準値計画等および基準値内訳実績受領業務ビジネスプロトコル標準規格(新)

4. 1. 3 メッセージの変更・取消の運用 4. 1. 3 メッセージの変更・取消の運用

基準値計画等受領において、メッセージ内のキー項目以外のデータ要素値を変更する場合は、当該データ要素値を変更後、変更前のメッ セージファイル名と同じメッセージファイルを作成する。(表4-4、図4-3)なお、当該メッセージが変更されたものかどうかは、前回受信したメッ セージを元に受信者が判断する。

週間市場商品事前予測型基準値計画は約定した商品ブロック開始の1時間前まで変更可能である。

直前計測型基準値内訳実績は約定した商品ブロック開始後から約定した商品ブロックの属する月の翌月10日まで変更可能である。

発電計画電力計画は各30分コマの実需給開始時刻の1時間前まで変更可能である。但し、商品ブロックの開始時刻の1時間前までに発電計 画電力計画の登録が間に合わなかった場合は、変更(登録)はできない。また、変更をする発電計画電力計画に含まれる30分コマのうち、開始 時刻が変更をする時刻から1時間未満の30分コマの発電計画電力は、すでに登録されている発電計画電力計画の当該30分コマの発電計画 電力から変更することはできない。

また、キー項目のデータ要素値を変更する方法およびメッセージを取り消す方法は規定しない。

基準値計画等受領において、メッセージ内のキー項目以外のデータ要素値を変更する場合は、当該データ要素値を変更後、変更前のメッ セージファイル名と同じメッセージファイルを作成する。(表4-4、図4-3)なお、当該メッセージが変更されたものかどうかは、前回受信したメッ セージを元に受信者が判断する。

基準値計画、機器点計画は約定後から約定した商品ブロック開始の1時間前まで変更可能である。

直前計測型基準値内訳実績は約定した商品ブロック開始後から約定した商品ブロックの属する月の翌月10日まで変更可能である。

発電計画電力計画は各30分コマの実需給開始時刻の1時間前まで変更可能である。但し、商品ブロックの開始時刻の1時間前までに発電計 画電力計画の登録が間に合わなかった場合は、変更(登録)はできない。また、変更をする発電計画電力計画に含まれる30分コマのうち、開始 時刻が変更をする時刻から1時間未満の30分コマの発電計画電力は、すでに登録されている発電計画電力計画の当該30分コマの発電計画 電力から変更することはできない。

また、キー項目のデータ要素値を変更する方法およびメッセージを取り消す方法は規定しない。

表4-4 メッセージの変更例

表4-4 メッセージの変更例

		項目	変更前	1回目の変更	2回目の変更			項目	変更前	1回目の変更	2回目の変更
基準値証	週間市場商品事前予測型基準値計画: W9_0131_20220403_01_3Y335_MMS.xml 直前計測型基準値内訳実績: W9_0331_20220403_01_3Y335_MMS.xml 発電計画電力計画: W9_0431_20220403_01_3Y335_MMS.xml			変更前と同一	変更前と同一	基準	メッセージファイル名		基準値計画: W9_0132_20220403_01_3Y335_MMS.xml 直前計測型基準値内訳実績: W9_0331_20220403_01_3Y335_MMS.xml 発電計画電力計画: W9_0431_20220403_01_3Y335_MMS.xml	変更前と同一	変更前と同一
当		キー項目	_	変更前と同一内容	変更前と同一内容	値計			機器点計画: W9_0532_20220403_01_3Y335_MMS.xml		
受領	データ	変更する データ要素	_	変更後の内容(注)	変更後の内容(注)	 		キー項目		変更前と同一内容	変更前と同一内容
	要素	変更しない				P.A.	データ	変更する	_	変更後の内容(注)	変更後の内容(注)
		データ要素	_	変更前と同一内容	変更前と同一内容		要素	データ要素			
(注)								変更しない データ要素	_	変更前と同一内容	変更前と同一内容

要素は変更されない。

⁽注) 発電計画電力計画は、開始時刻が変更をする時刻から1時間以降の30分コマの要素のみ変更後の内容となり、1時間未満の30分コマの 要素は変更されない。

